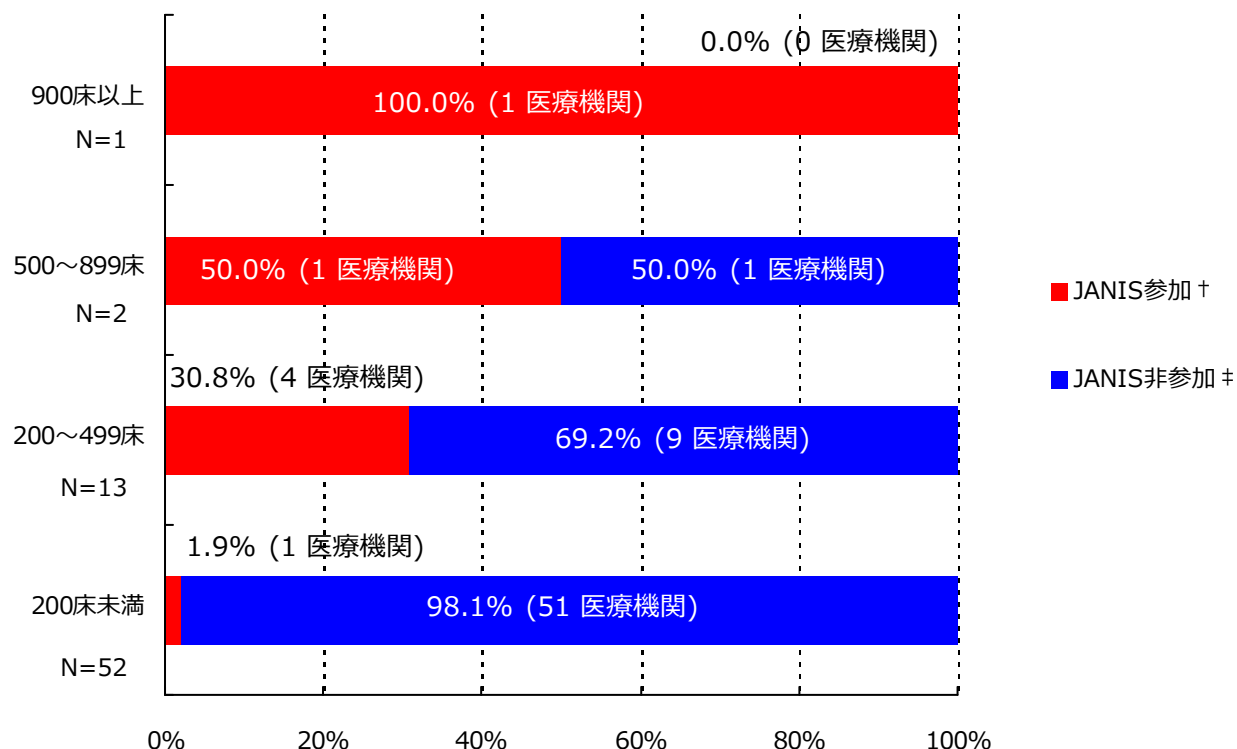


(福井県)
公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(7医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	1	1 (100%)
500～899床	2	1 (50%)
200～499床	13	4 (30.8%)
200床未満	52	1 (1.9%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	68	7 (10.3%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(福井県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

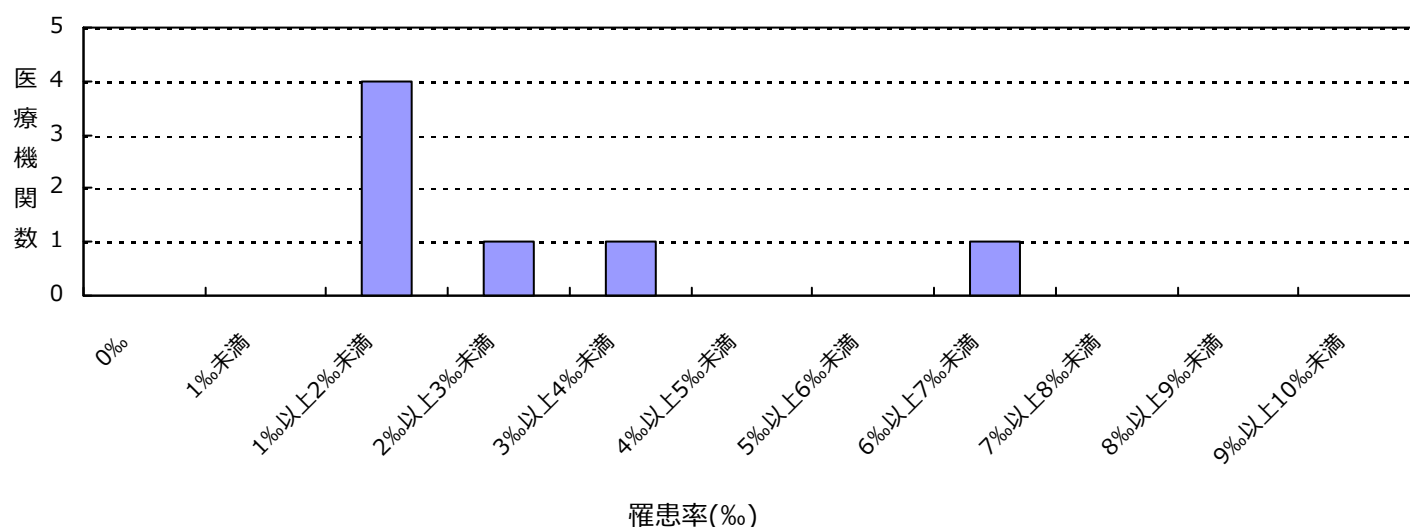


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	45,254	0	105	2.32%	1.08 1.53 6.25

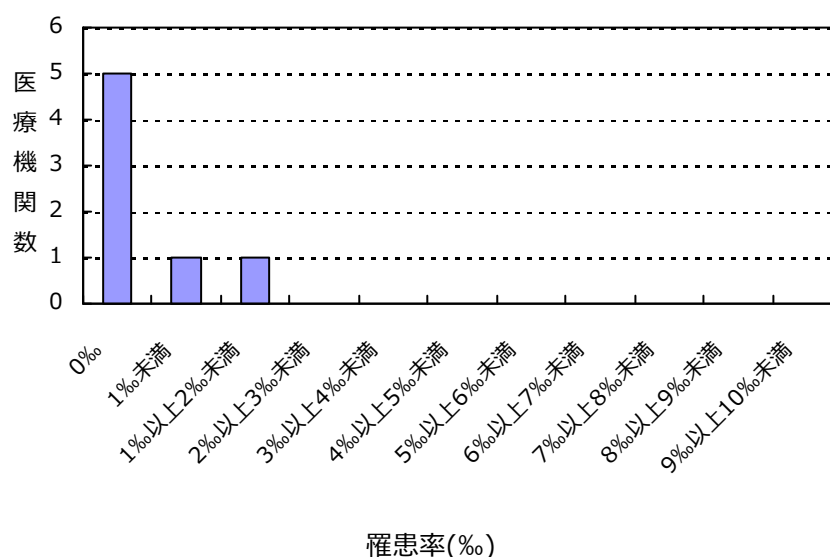
集計対象医療機関の罹患率(N=7)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	45,254	0	21	0.46%	0.00 0.00 1.09

集計対象医療機関の罹患率(N=7)



(福井県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

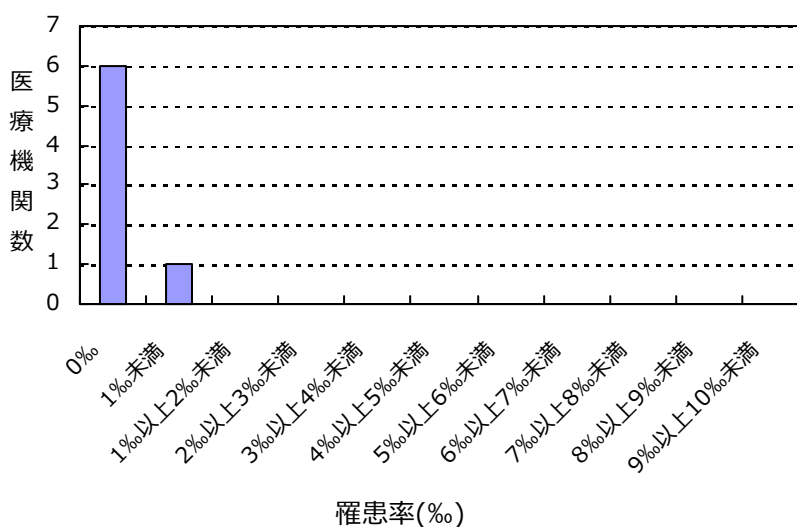


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	45,254	0	1	0.02‰	0.00 0.00 0.20

集計対象医療機関の罹患率(N=7)



(福井県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

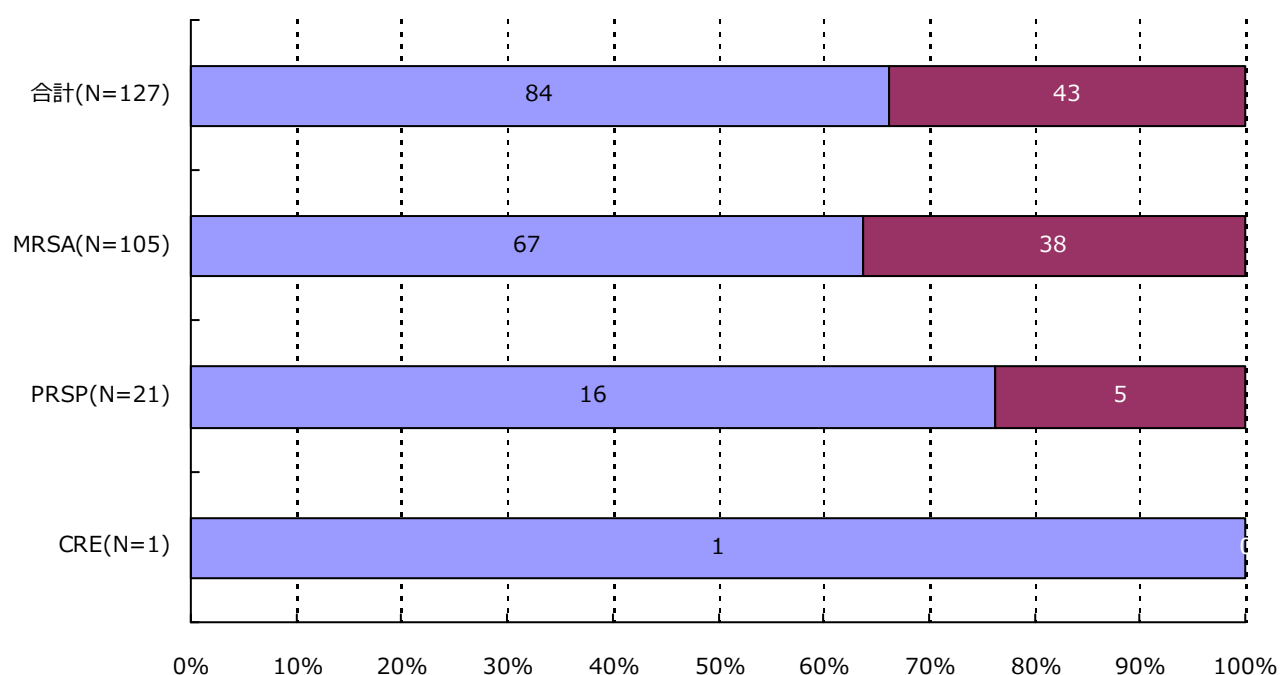
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

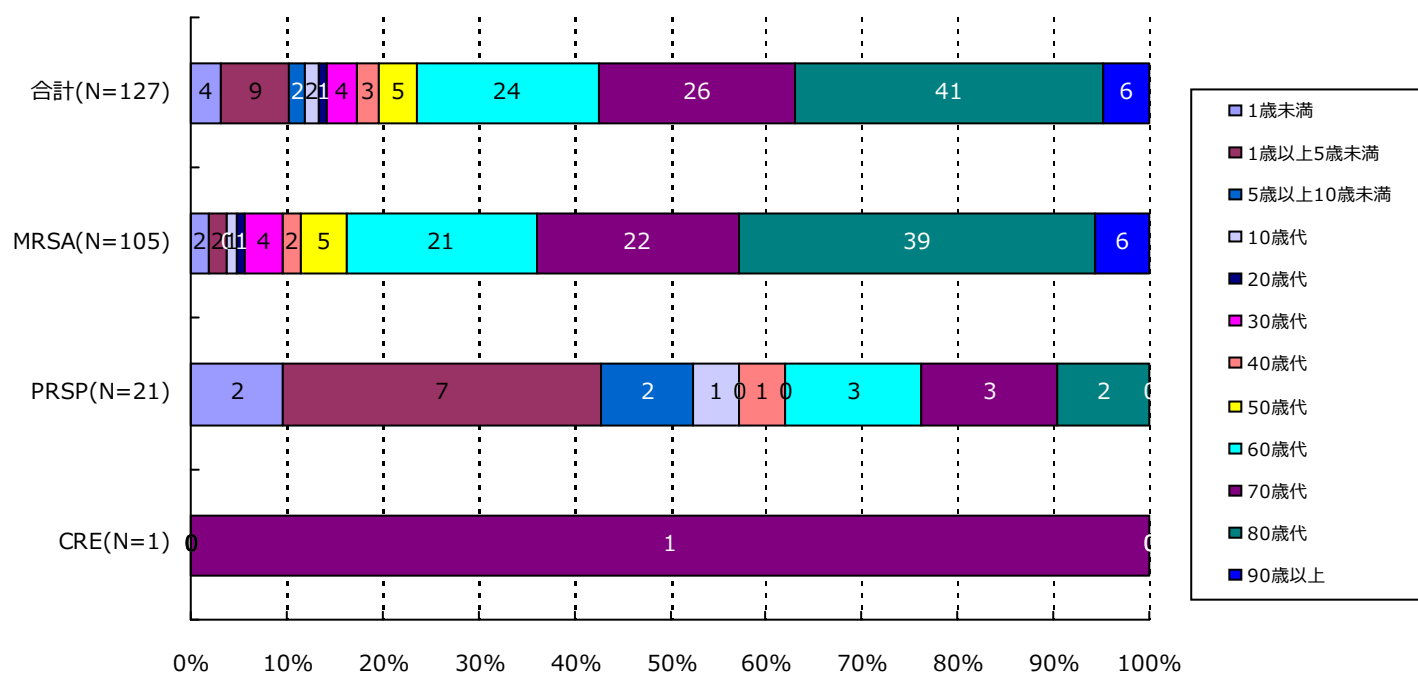
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



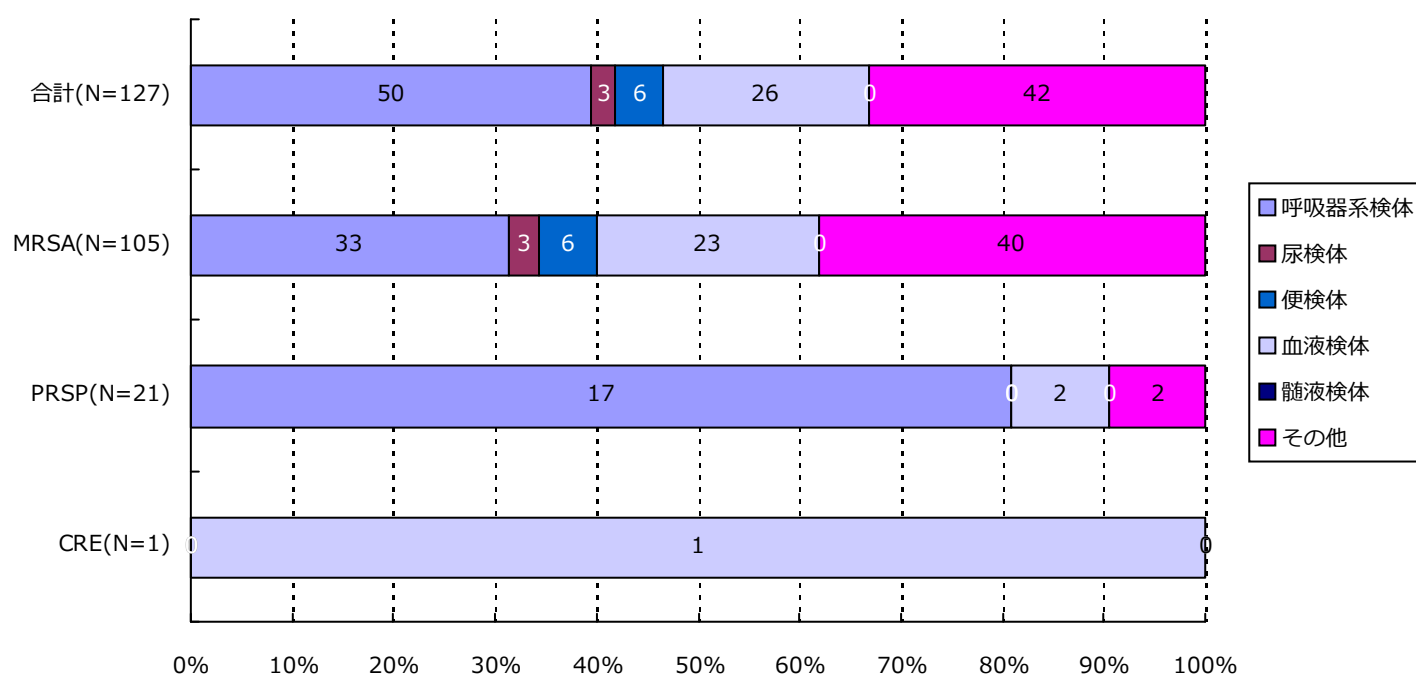
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	84 (66.1%)	67 (63.8%)	0 (-)	0 (-)	16 (76.2%)	0 (-)	0 (-)	1 (100.0%)
女	43 (33.9%)	38 (36.2%)	0 (-)	0 (-)	5 (23.8%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	127	105	0	0	21	0	0	1

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4(3.1%)	2(1.9%)	0(-)	0(-)	2(9.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	9(7.1%)	2(1.9%)	0(-)	0(-)	7(33.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	2(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(9.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(1.6%)	1(1.0%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	1(0.8%)	1(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	4(3.1%)	4(3.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	3(2.4%)	2(1.9%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	5(3.9%)	5(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	24(18.9%)	21(20.0%)	0(-)	0(-)	3(14.3%)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	26(20.5%)	22(21.0%)	0(-)	0(-)	3(14.3%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
80歳代	41(32.3%)	39(37.1%)	0(-)	0(-)	2(9.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
90歳以上	6(4.7%)	6(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	127	105	0	0	21	0	0	1

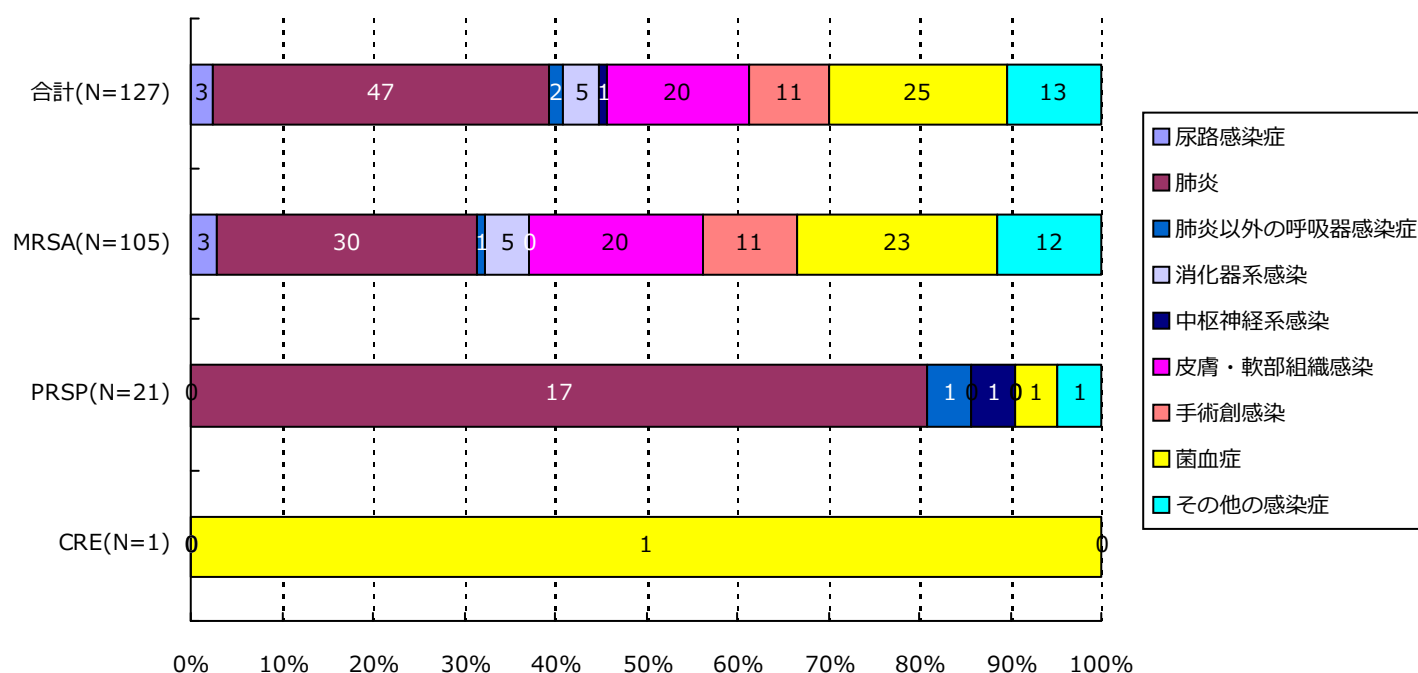
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	50(39.4%)	33(31.4%)	0(-)	0(-)	17(81.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	3(2.4%)	3(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	6(4.7%)	6(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	26(20.5%)	23(21.9%)	0(-)	0(-)	2(9.5%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	42(33.1%)	40(38.1%)	0(-)	0(-)	2(9.5%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	127	105	0	0	21	0	0	1

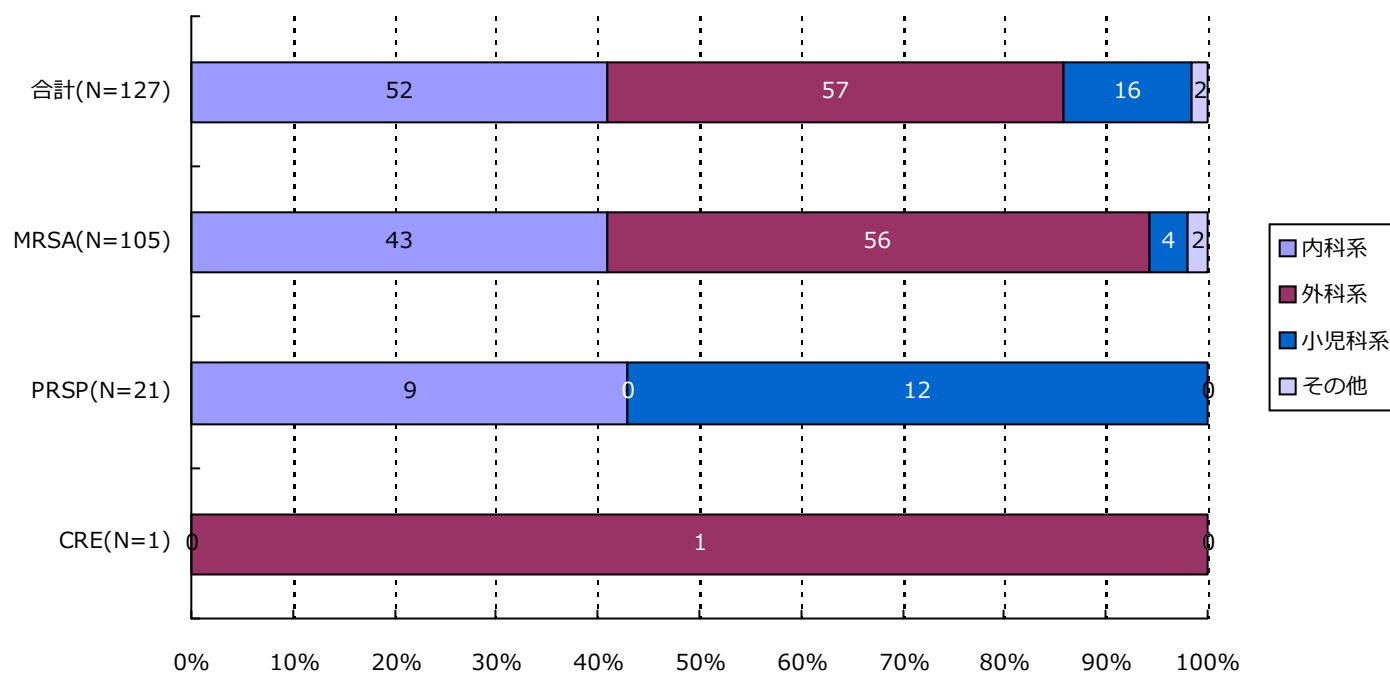
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	3(2.4%)	3(2.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	47(37.0%)	30(28.6%)	0(-)	0(-)	17(81.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	2(1.6%)	1(1.0%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	5(3.9%)	5(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	20(15.7%)	20(19.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	11(8.7%)	11(10.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	25(19.7%)	23(21.9%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
その他	13(10.2%)	12(11.4%)	0(-)	0(-)	1(4.8%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	127	105	0	0	21	0	0	1

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	52(40.9%)	43(41.0%)	0(-)	0(-)	9(42.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	57(44.9%)	56(53.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)
小児科系	16(12.6%)	4(3.8%)	0(-)	0(-)	12(57.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	2(1.6%)	2(1.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	127	105	0	0	21	0	0	1

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	小児科系
泌尿器科	
皮膚・泌尿器科	
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

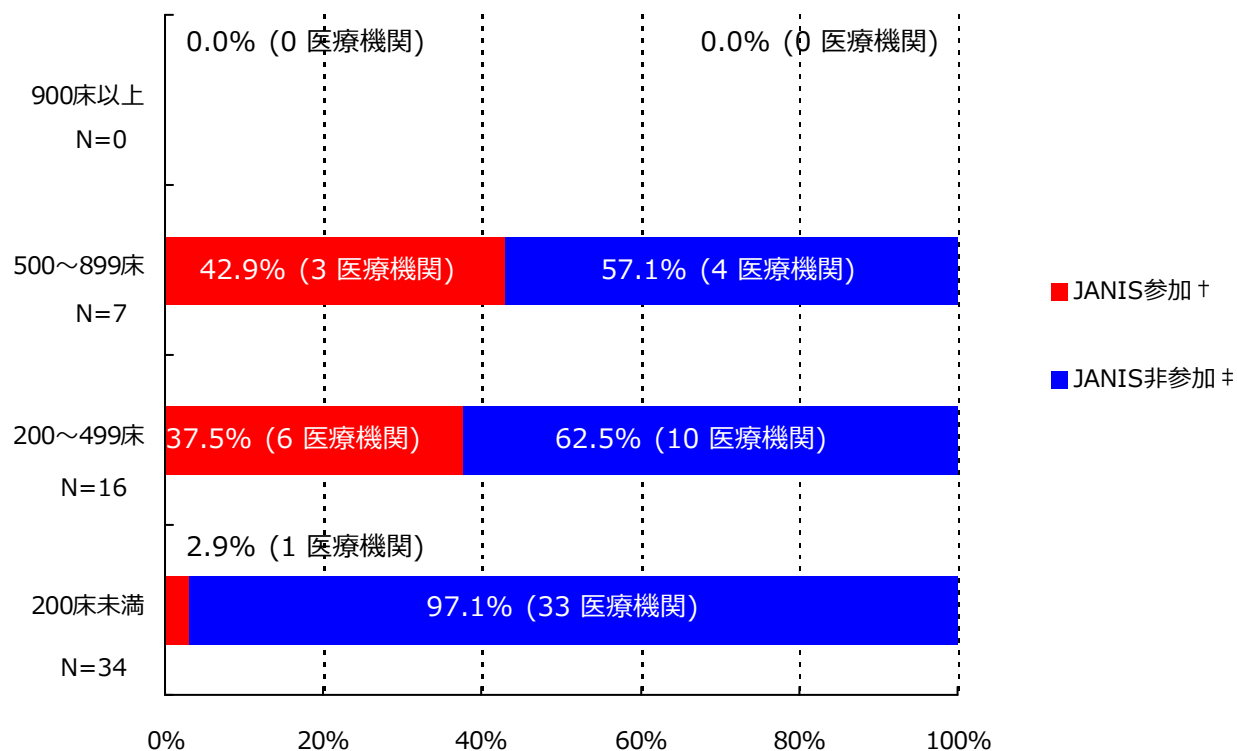
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(10医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	7	3 (42.9%)
200～499床	16	6 (37.5%)
200床未満	34	1 (2.9%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	57	10 (17.5%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(滋賀県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

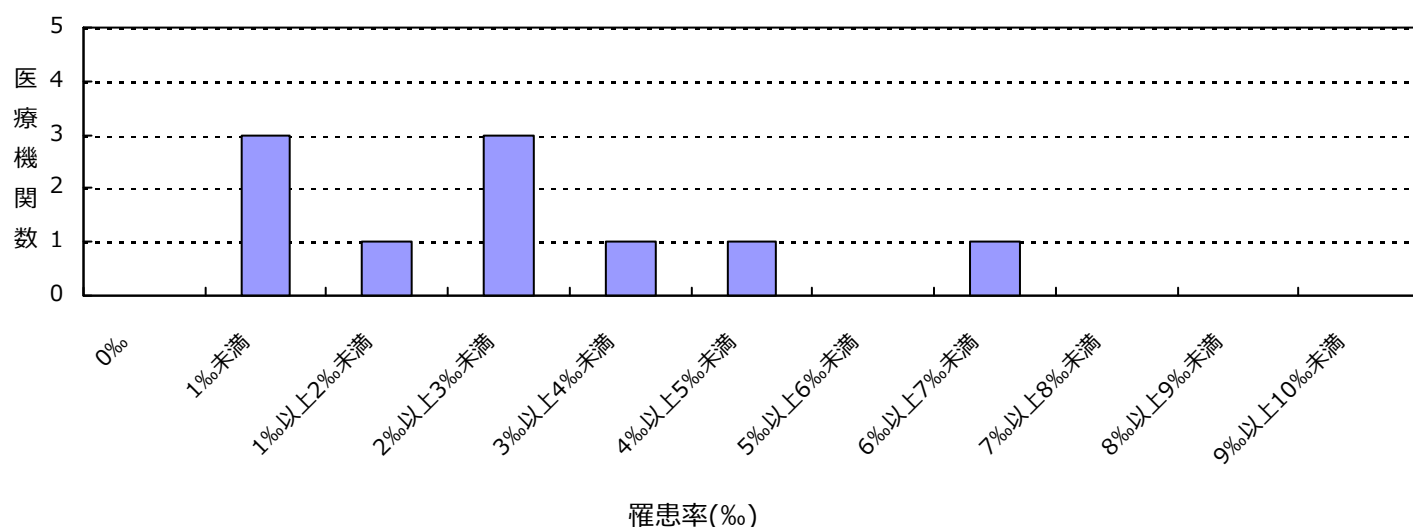


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MRSA	87,495	1	194	2.22‰	0.56 2.16 6.44

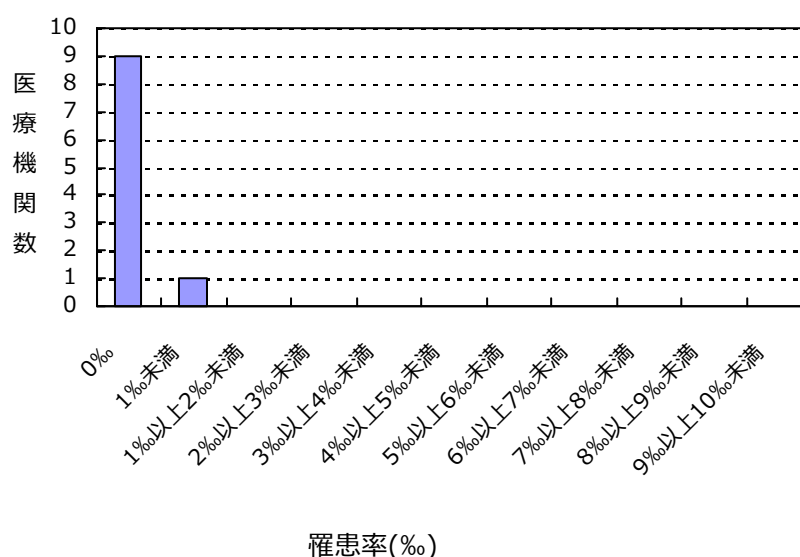
集計対象医療機関の罹患率(N=10)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	87,495	0	3	0.03‰	0.00 0.00 0.28

集計対象医療機関の罹患率(N=10)



(滋賀県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

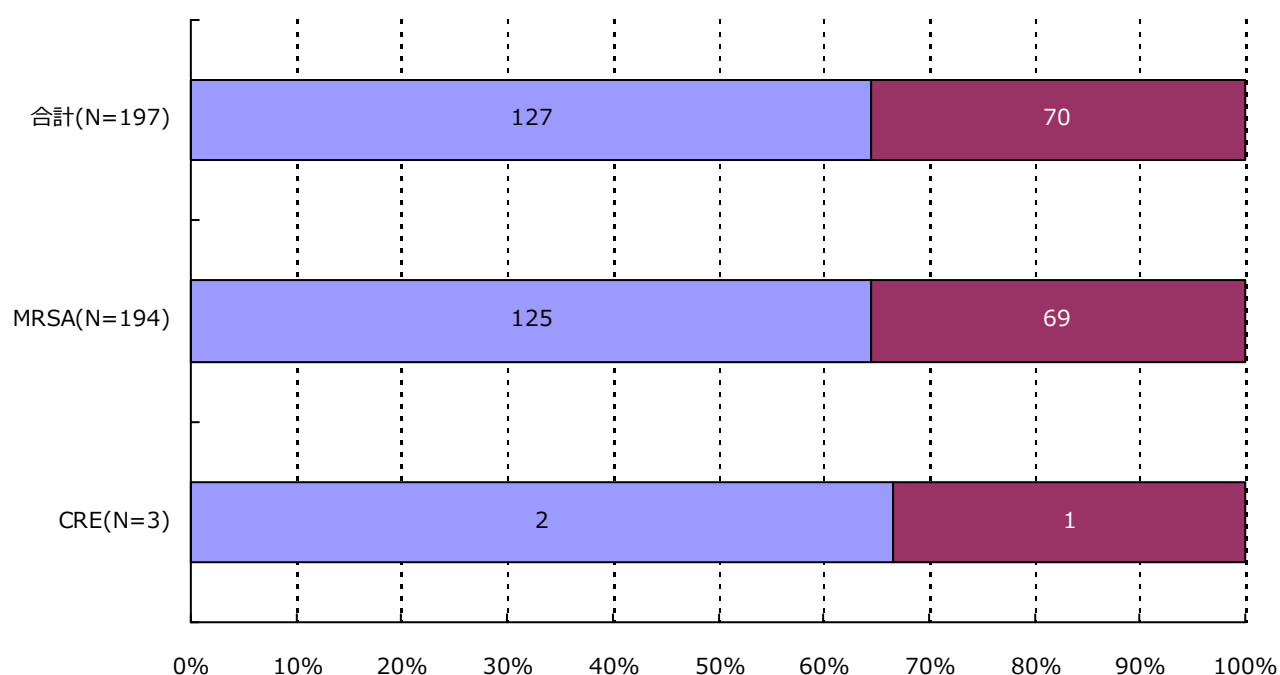
(滋賀県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	127 (64.5%)	125 (64.4%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (66.7%)
女	70 (35.5%)	69 (35.6%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	1 (33.3%)
合計	197	194	0	0	0	0	0	3

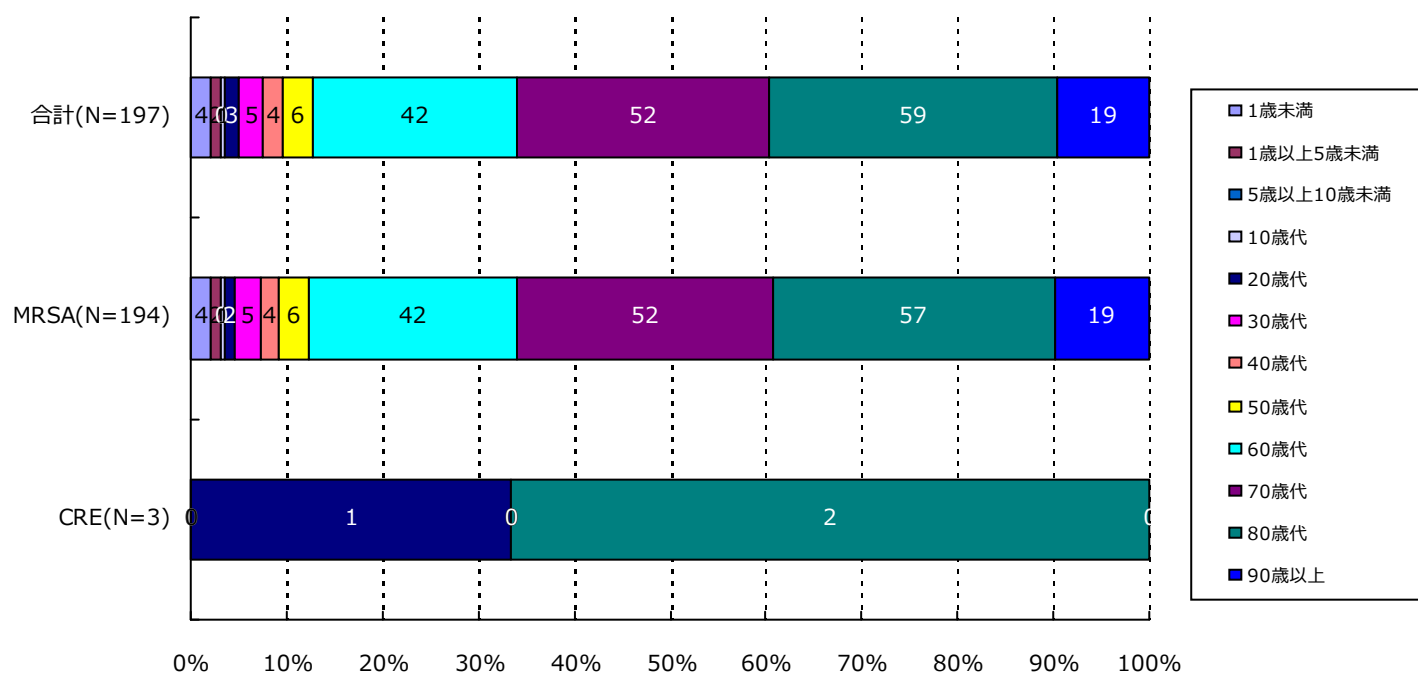
(滋賀県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

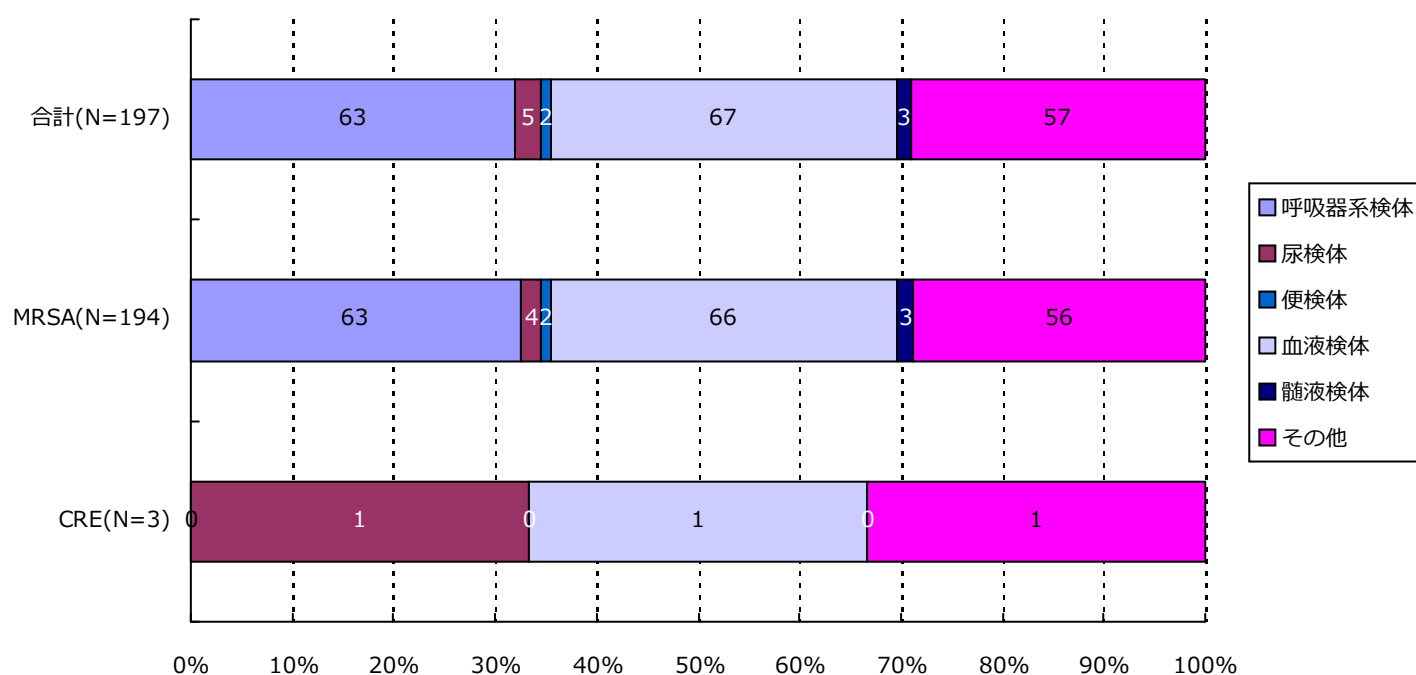


4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4(2.0%)	4(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	2(1.0%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.5%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	3(1.5%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
30歳代	5(2.5%)	5(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	4(2.0%)	4(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	6(3.0%)	6(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	42(21.3%)	42(21.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	52(26.4%)	52(26.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	59(29.9%)	57(29.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(66.7%)
90歳以上	19(9.6%)	19(9.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	197	194	0	0	0	0	0	3

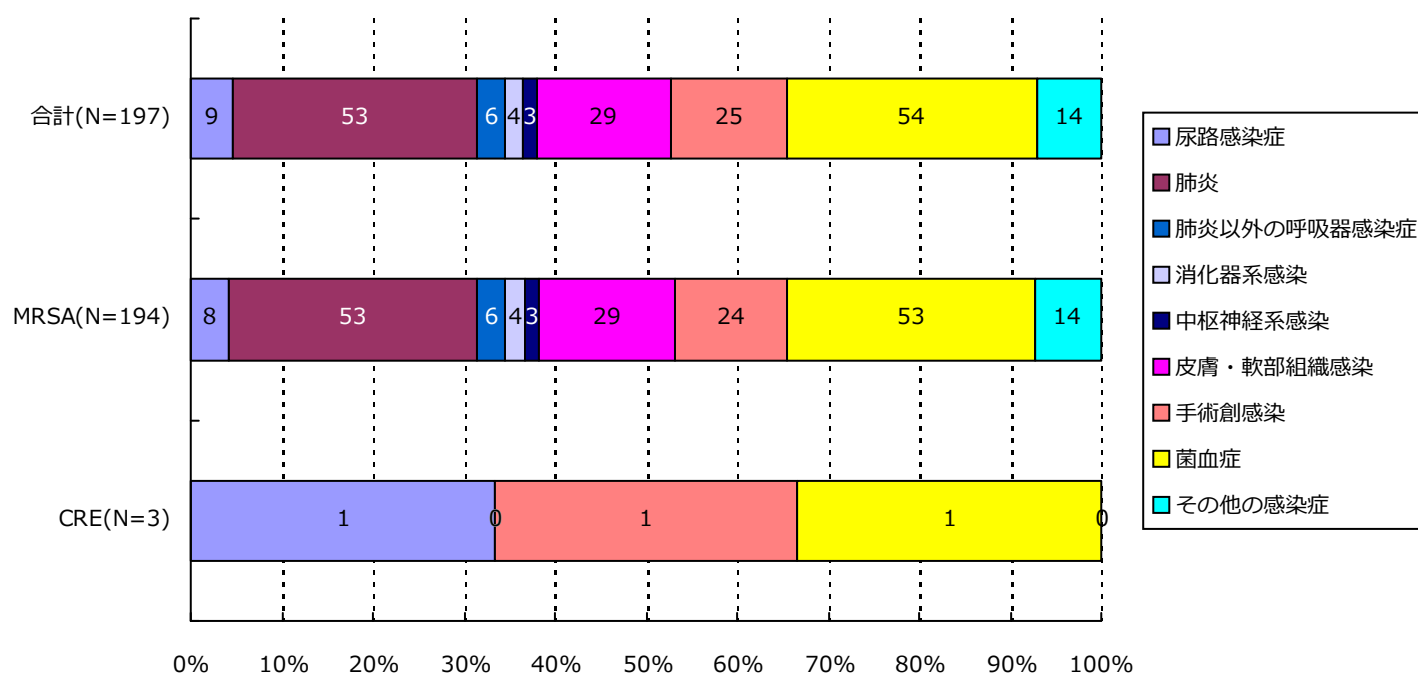
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	63(32.0%)	63(32.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	5(2.5%)	4(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
便検体	2(1.0%)	2(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	67(34.0%)	66(34.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
髄液検体	3(1.5%)	3(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	57(28.9%)	56(28.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
合計	197	194	0	0	0	0	0	3

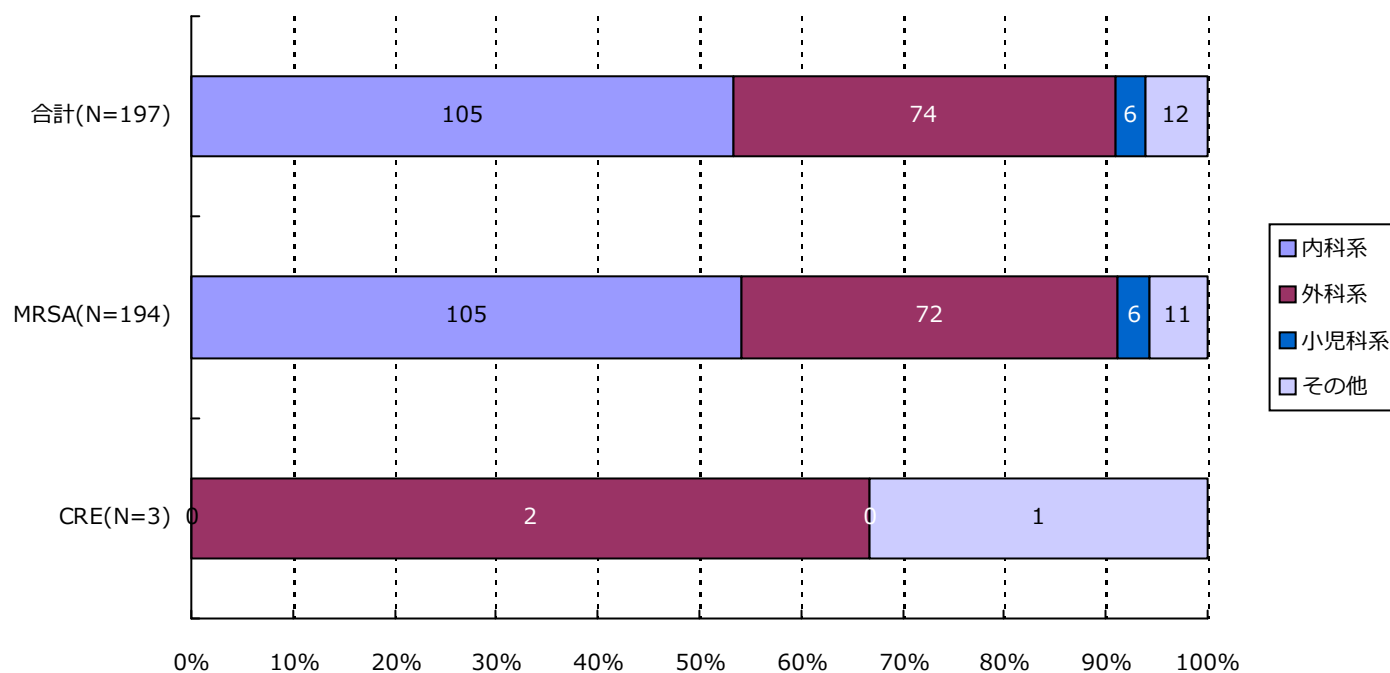
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	9(4.6%)	8(4.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
肺炎	53(26.9%)	53(27.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	6(3.0%)	6(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	4(2.0%)	4(2.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	3(1.5%)	3(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	29(14.7%)	29(14.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	25(12.7%)	24(12.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
菌血症	54(27.4%)	53(27.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
その他	14(7.1%)	14(7.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	197	194	0	0	0	0	0	3

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	105(53.3%)	105(54.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
外科系	74(37.6%)	72(37.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(66.7%)
小児科系	6(3.0%)	6(3.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	12(6.1%)	11(5.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(33.3%)
合計	197	194	0	0	0	0	0	3

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	小児科系
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	
小児科	
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

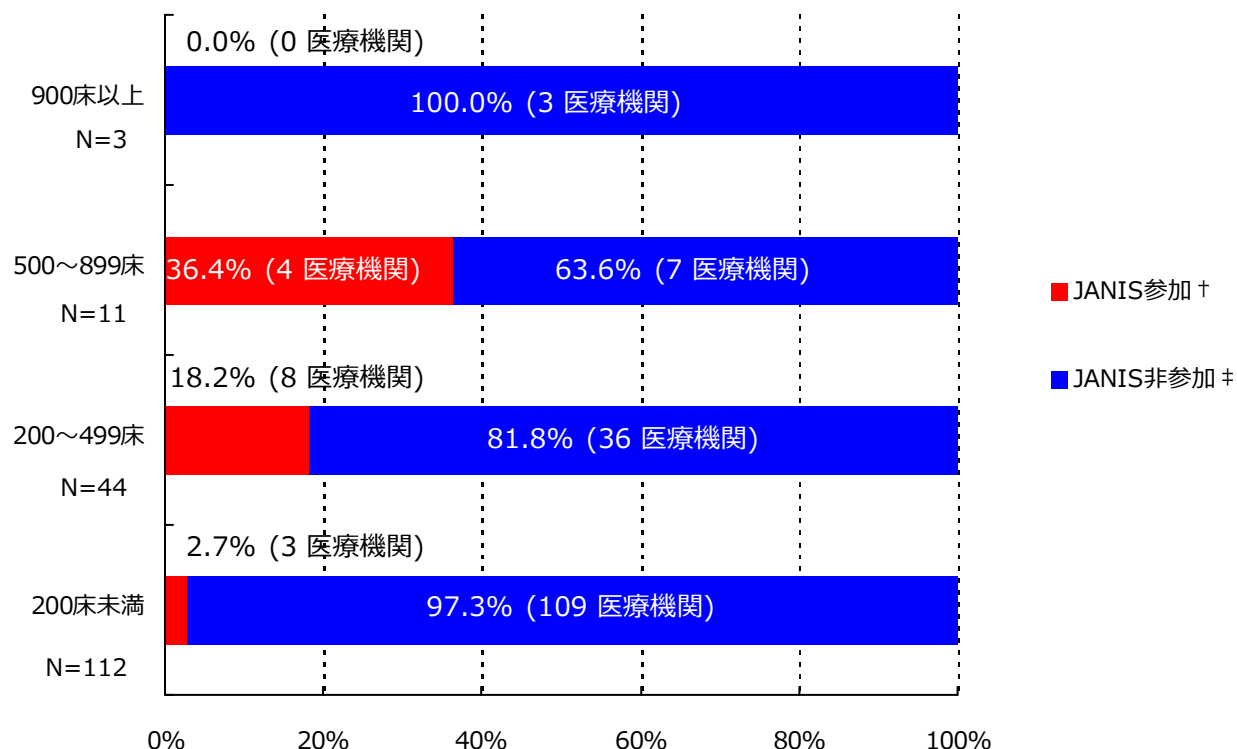
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(15医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	3	0 (0%)
500～899床	11	4 (36.4%)
200～499床	44	8 (18.2%)
200床未満	112	3 (2.7%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	170	15 (8.8%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(京都府)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

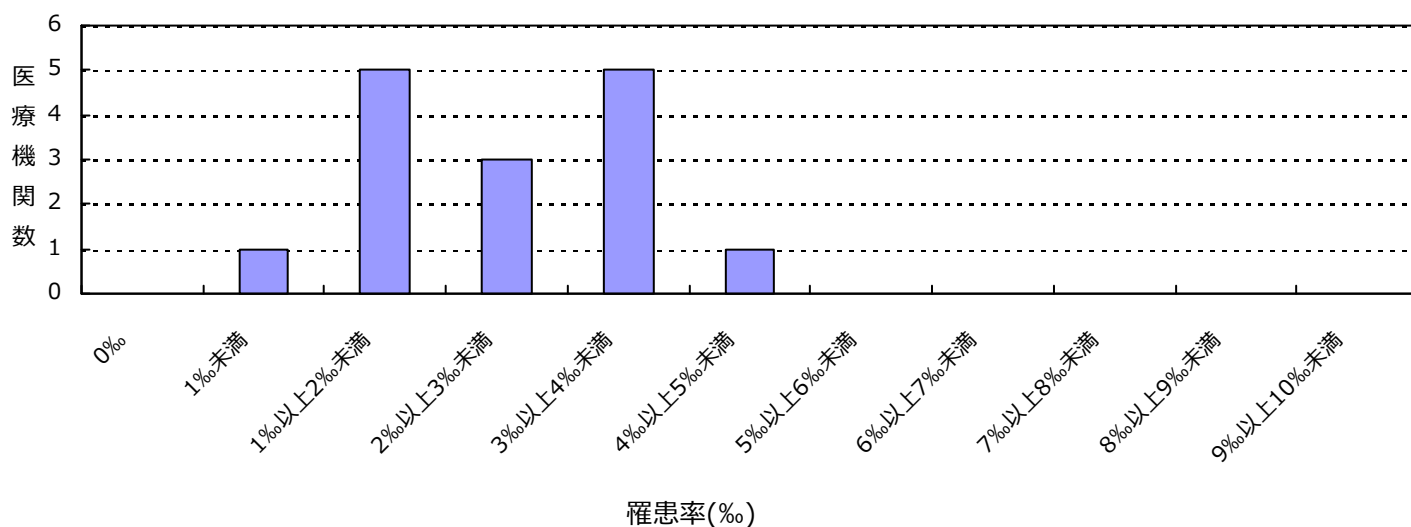


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MRSA	120,637	9	267	2.21‰	0.96 2.45 4.12

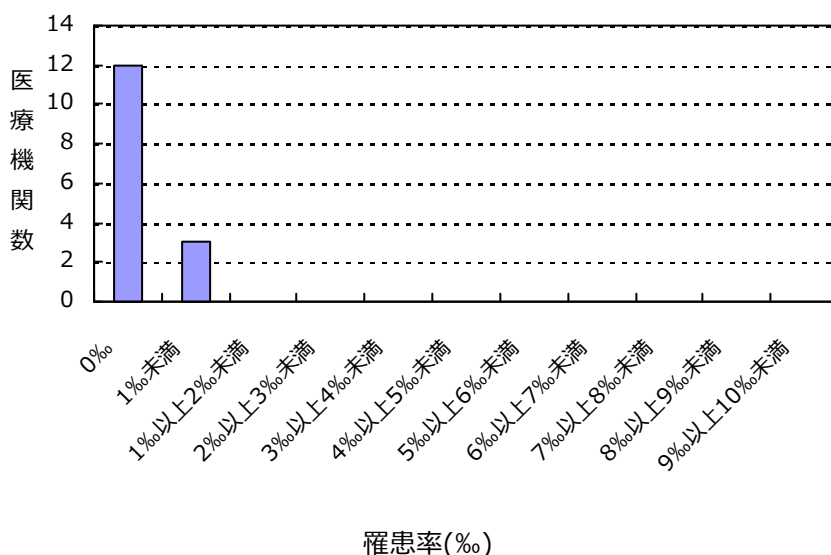
集計対象医療機関の罹患率(N=15)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	120,637	0	4	0.03‰	0.00 0.00 0.34

集計対象医療機関の罹患率(N=15)



(京都府)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

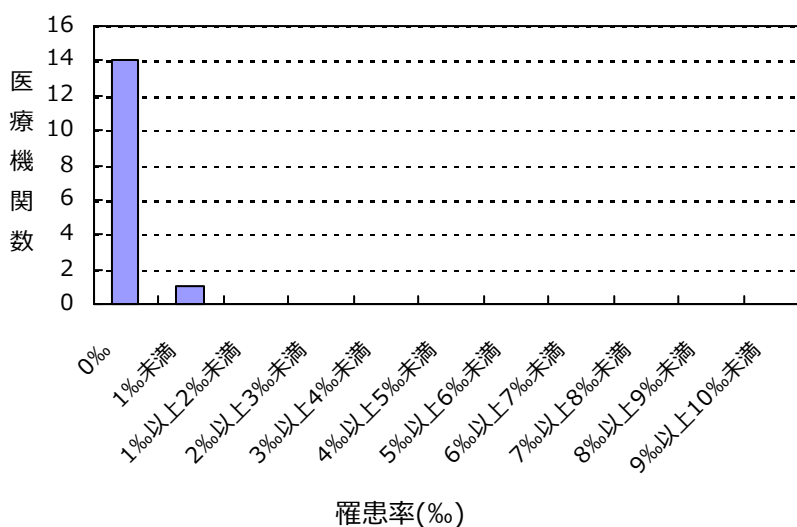


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	120,637	0	5	0.04‰	0.00 0.00 0.35

集計対象医療機関の罹患率(N=15)



(京都府)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

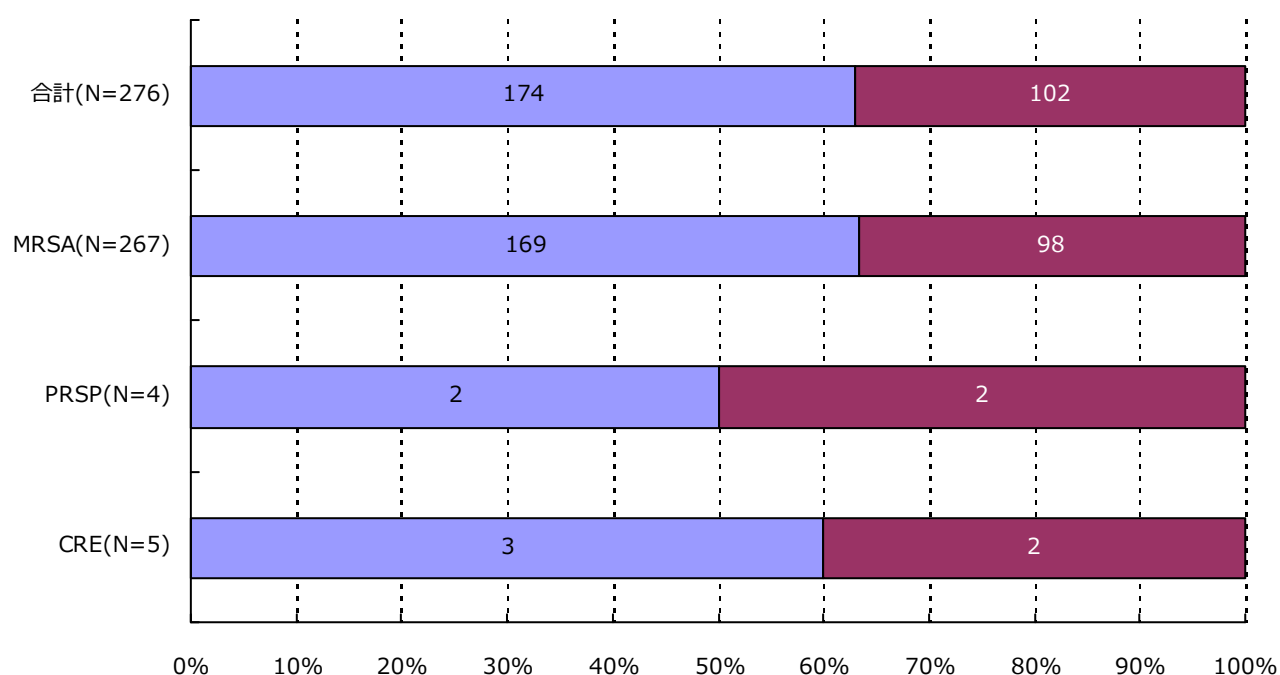
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

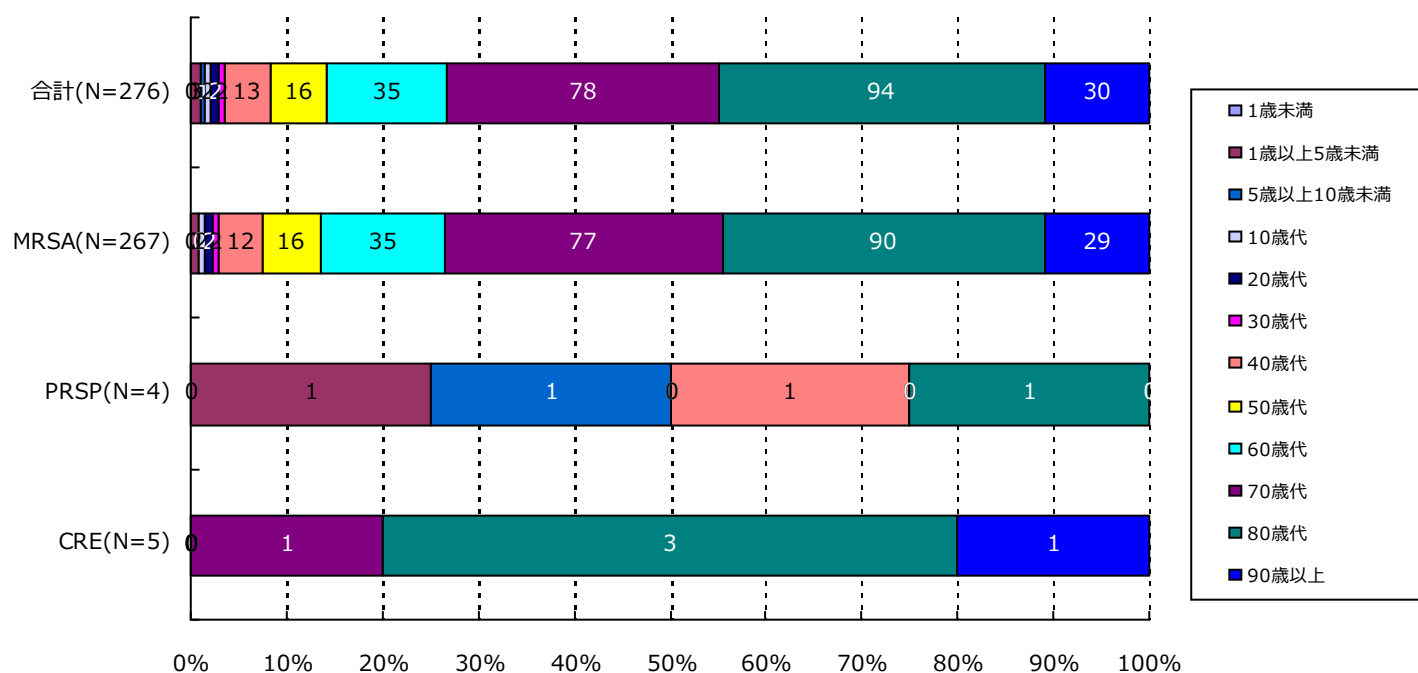
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



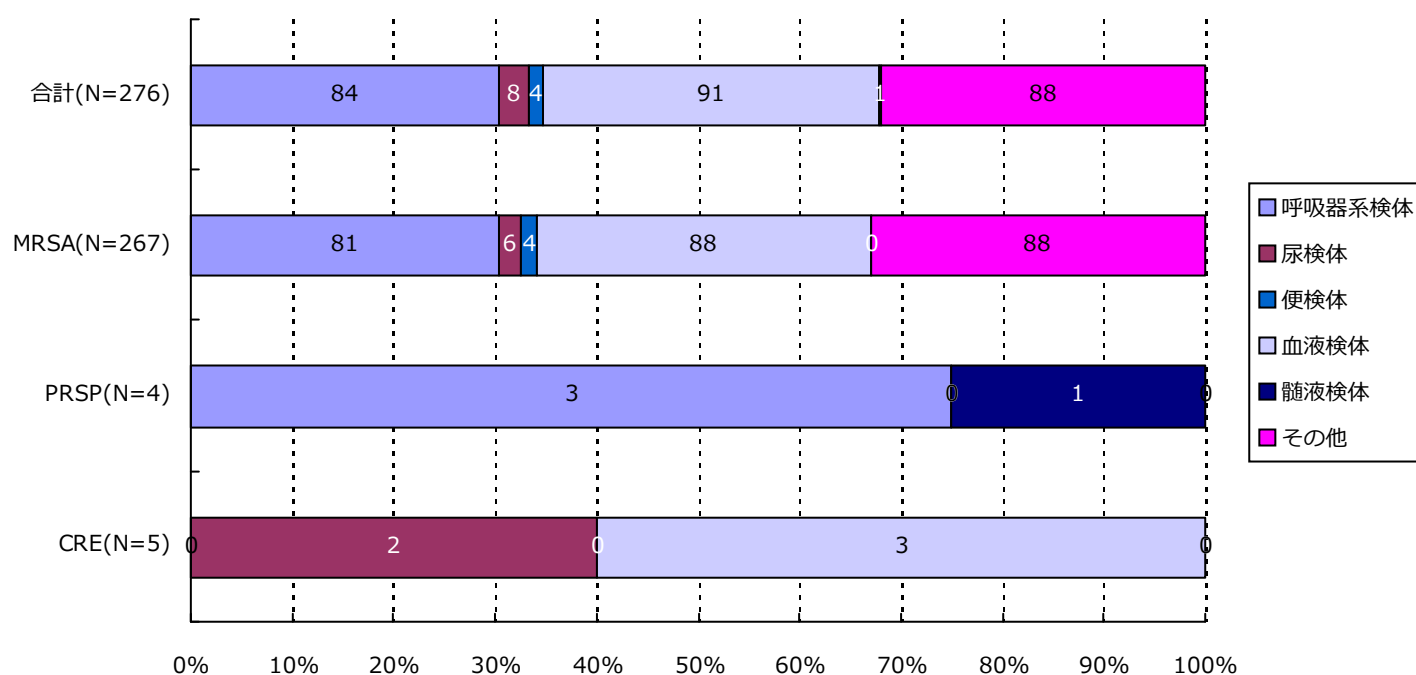
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	174 (63.0%)	169 (63.3%)	0 (-)	0 (-)	2 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	3 (60.0%)
女	102 (37.0%)	98 (36.7%)	0 (-)	0 (-)	2 (50.0%)	0 (-)	0 (-)	2 (40.0%)
合計	276	267	0	0	4	0	0	5

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	3(1.1%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	2(0.7%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	2(0.7%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	2(0.7%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	13(4.7%)	12(4.5%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	16(5.8%)	16(6.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	35(12.7%)	35(13.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	78(28.3%)	77(28.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
80歳代	94(34.1%)	90(33.7%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	3(60.0%)
90歳以上	30(10.9%)	29(10.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
合計	276	267	0	0	4	0	0	5

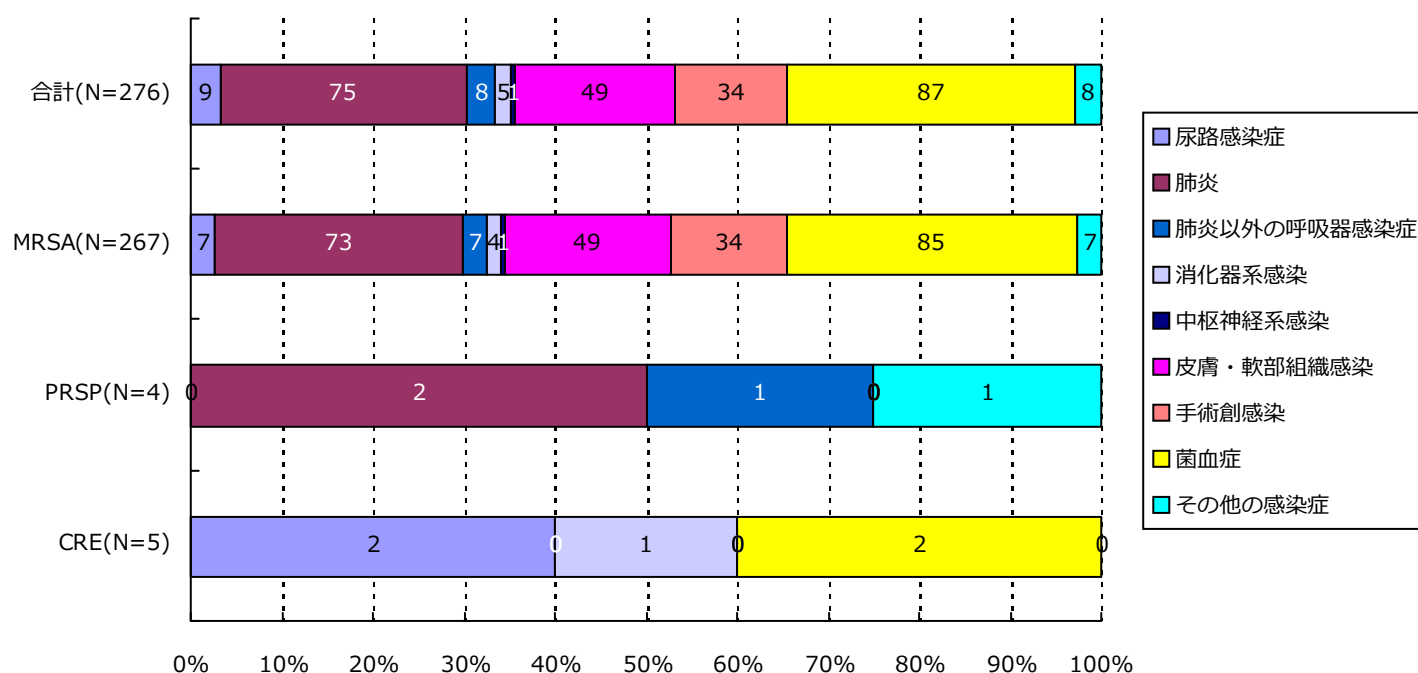
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	84(30.4%)	81(30.3%)	0(-)	0(-)	3(75.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	8(2.9%)	6(2.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(40.0%)
便検体	4(1.4%)	4(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	91(33.0%)	88(33.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(60.0%)
髄液検体	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	88(31.9%)	88(33.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	276	267	0	0	4	0	0	5

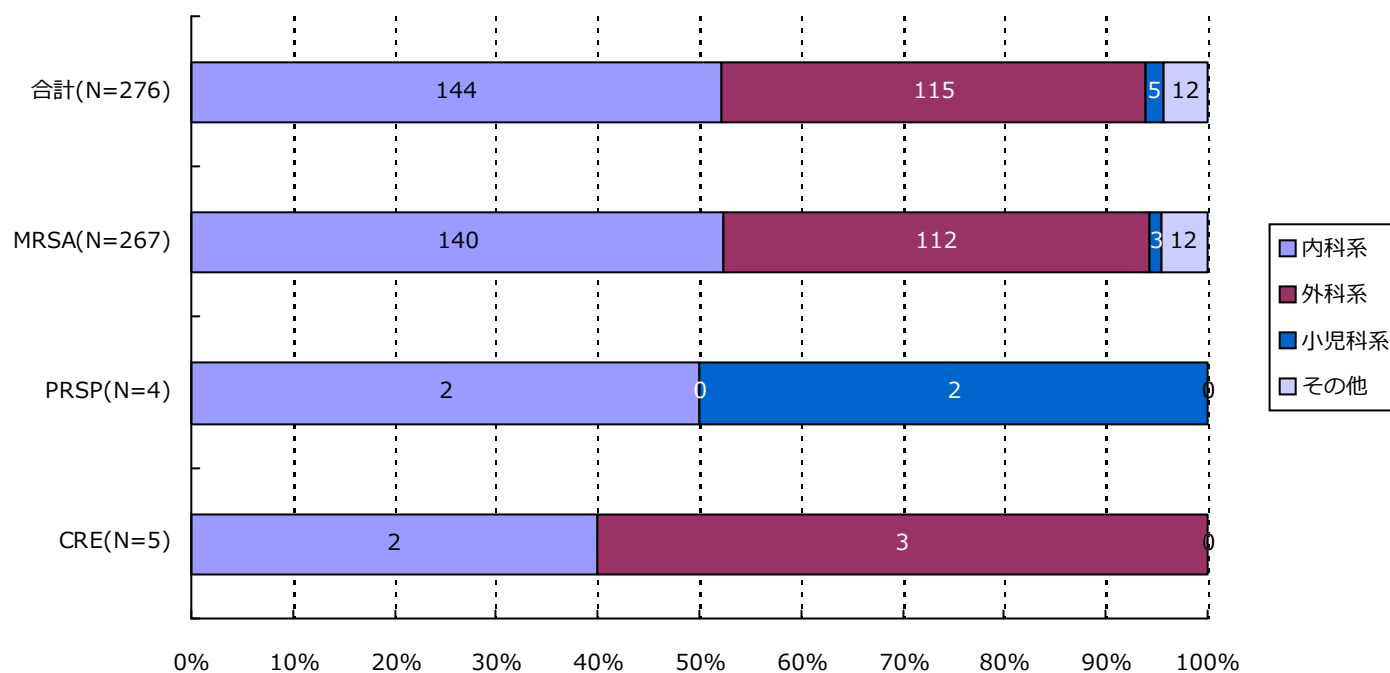
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	9(3.3%)	7(2.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(40.0%)
肺炎	75(27.2%)	73(27.3%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎以外	8(2.9%)	7(2.6%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	5(1.8%)	4(1.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(20.0%)
中枢神経系	1(0.4%)	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	49(17.8%)	49(18.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	34(12.3%)	34(12.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
菌血症	87(31.5%)	85(31.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(40.0%)
その他	8(2.9%)	7(2.6%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	276	267	0	0	4	0	0	5

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	144(52.2%)	140(52.4%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	0(-)	2(40.0%)
外科系	115(41.7%)	112(41.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(60.0%)
小児科系	5(1.8%)	3(1.1%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	12(4.3%)	12(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	276	267	0	0	4	0	0	5

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
小児科系	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

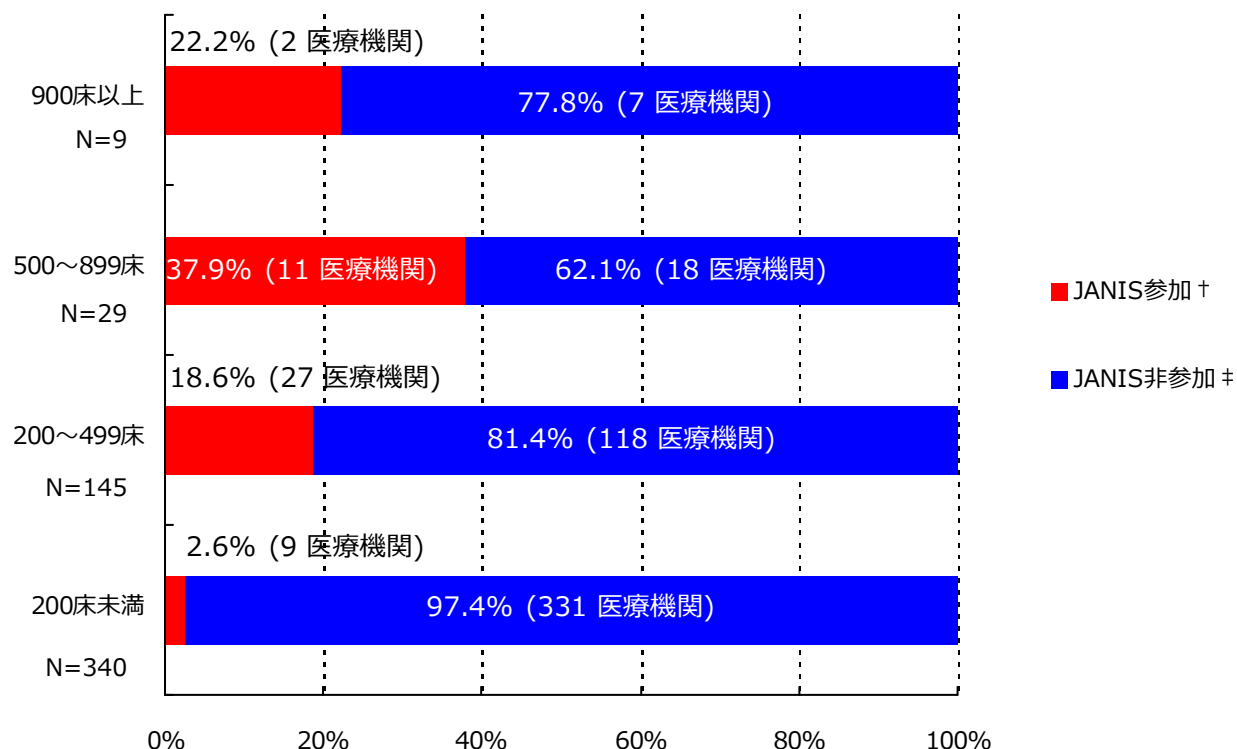
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(49医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	9	2 (22.2%)
500～899床	29	11 (37.9%)
200～499床	145	27 (18.6%)
200床未満	340	9 (2.6%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	523	49 (9.4%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(大阪府)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

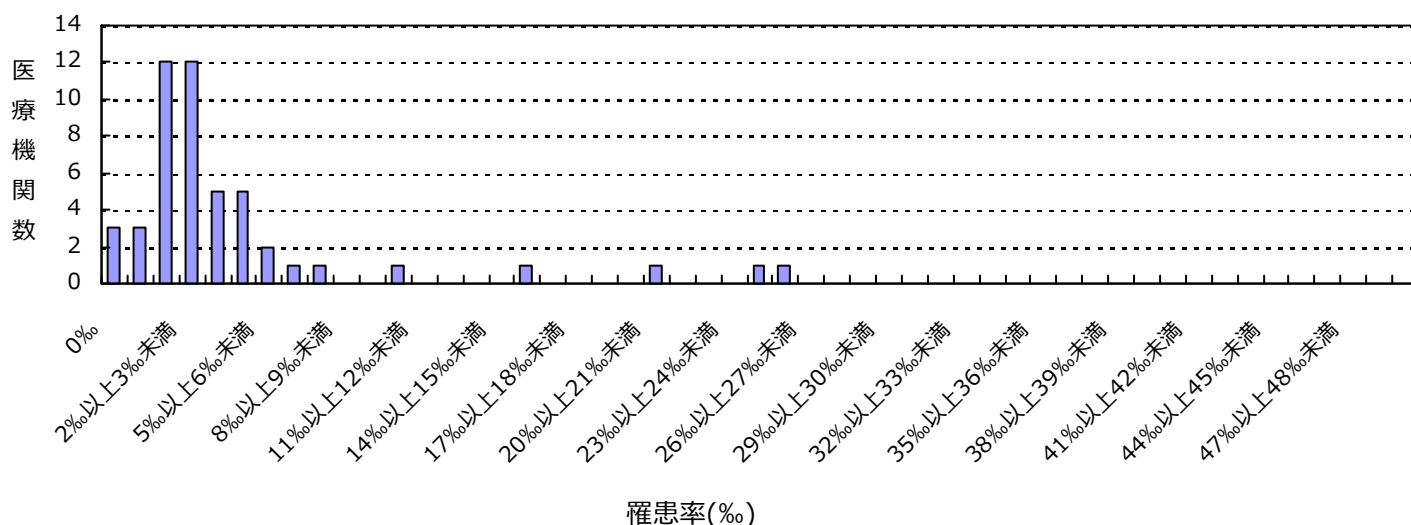


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	396,962	23	1,121	2.82%	0.00 2.21 25.11 口

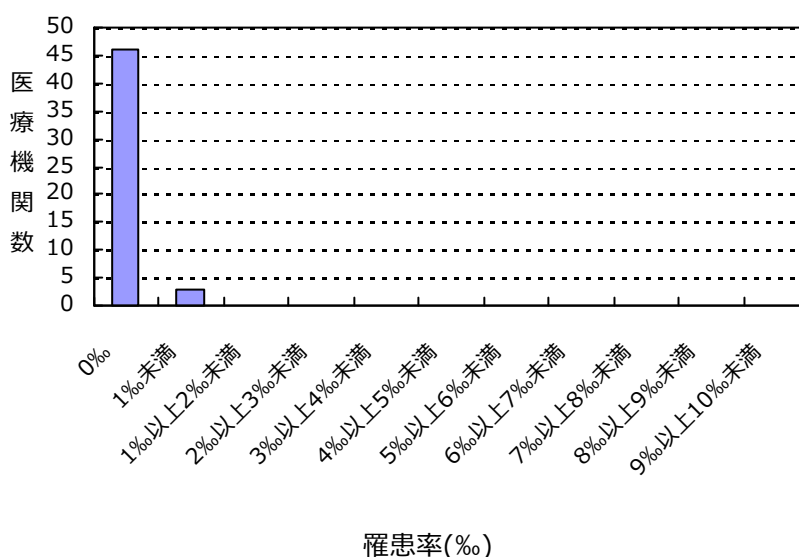
集計対象医療機関の罹患率(N=49)



バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
VRE	396,962	0	4	0.01%	0.00 0.00 0.12

集計対象医療機関の罹患率(N=49)



(大阪府)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

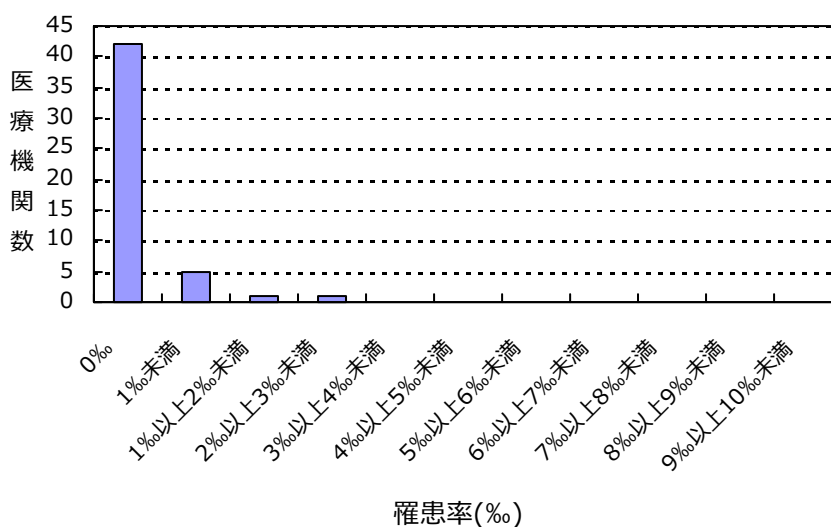


2. 新規感染症患者数と罹患率

ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	396,962	0	61	0.15%	0.00 0.00 2.34 H

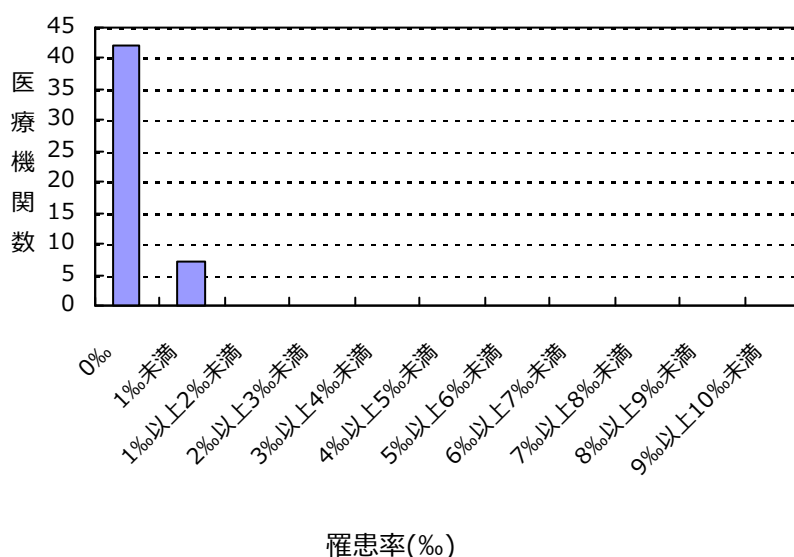
集計対象医療機関の罹患率(N=49)



多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MDRP	396,962	0	9	0.02%	0.00 0.00 0.35 H

集計対象医療機関の罹患率(N=49)



(大阪府)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

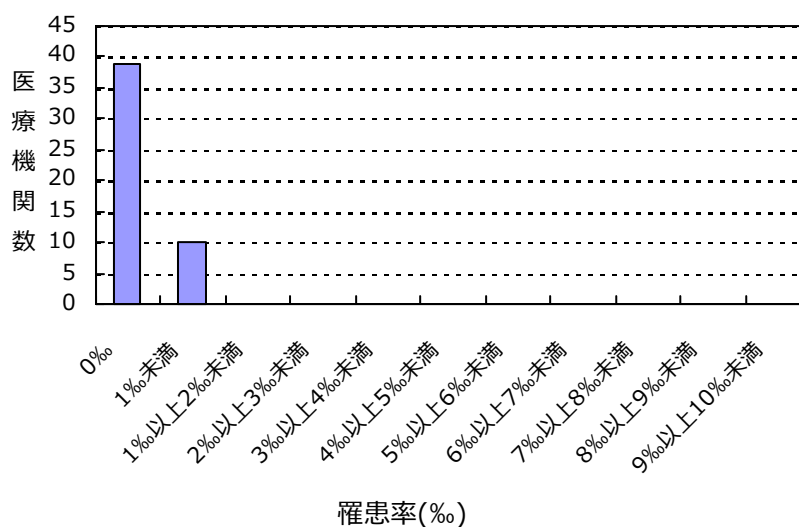


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	396,962	0	31	0.08‰	0.00 0.00 0.69

集計対象医療機関の罹患率(N=49)



(大阪府)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

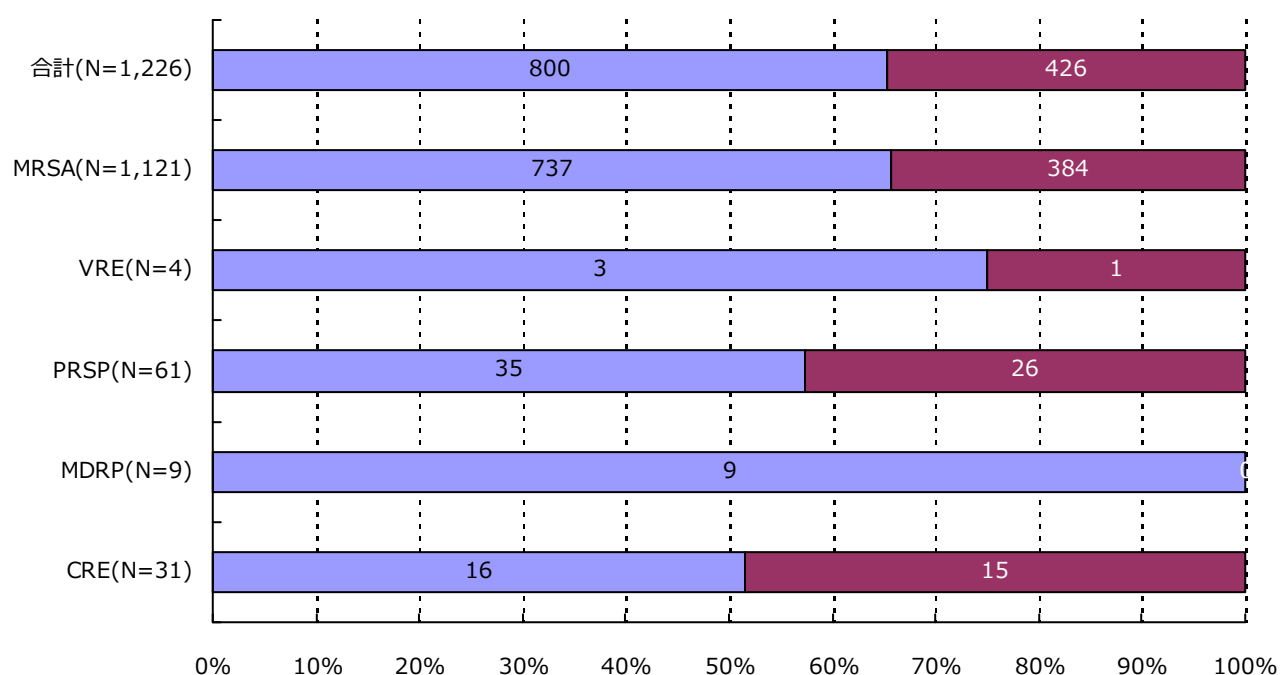
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

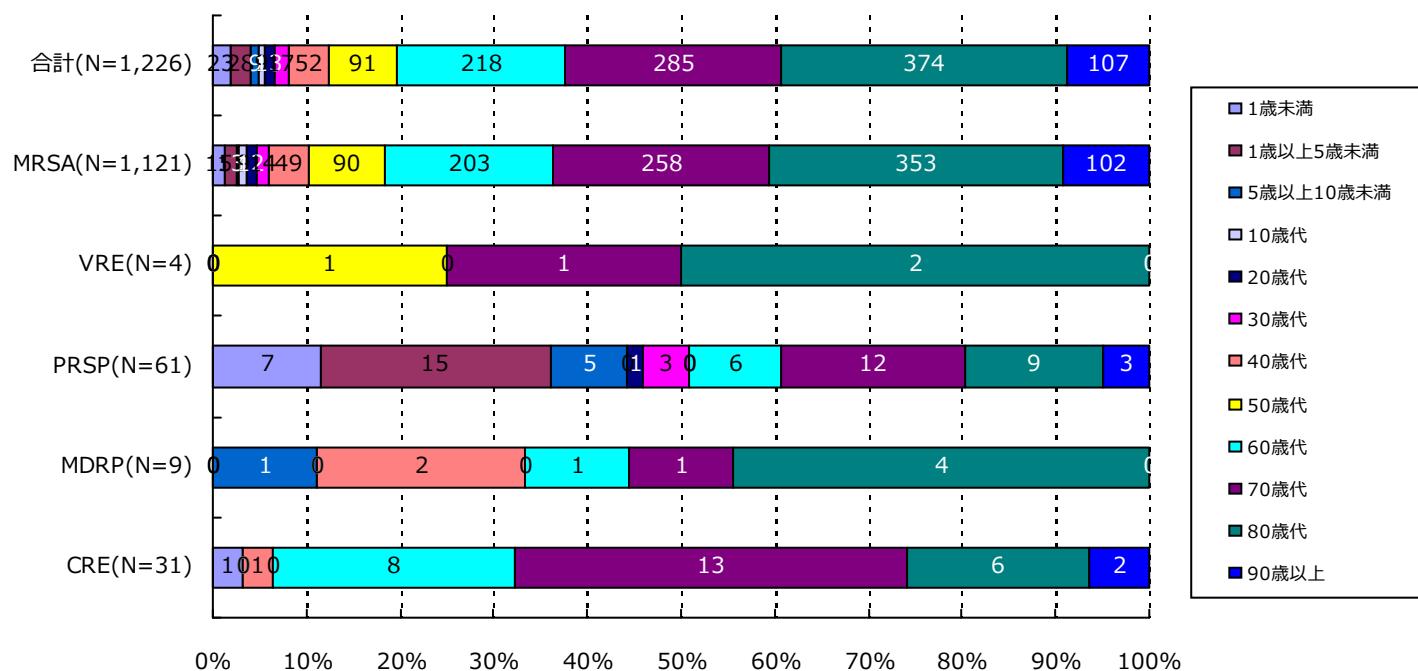
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



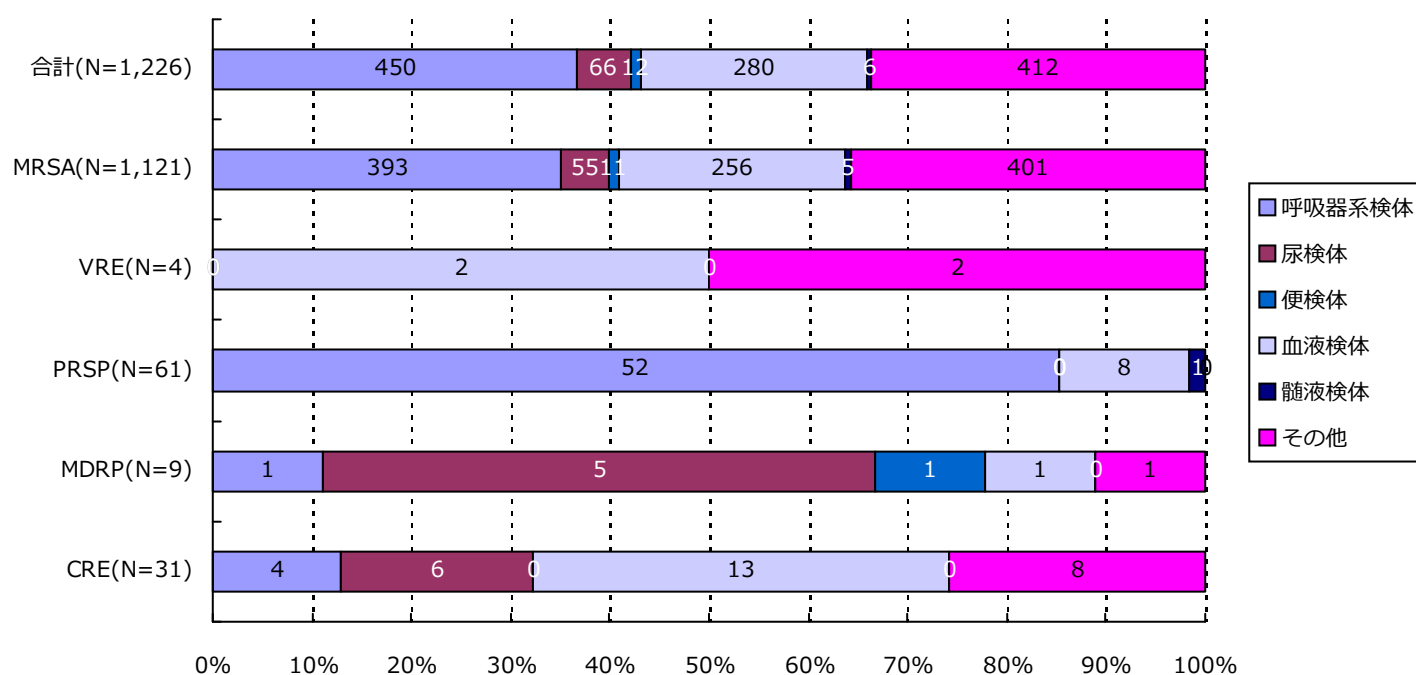
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	800 (65.3%)	737 (65.7%)	0 (-)	3 (75.0%)	35 (57.4%)	9 (100.0%)	0 (-)	16 (51.6%)
女	426 (34.7%)	384 (34.3%)	0 (-)	1 (25.0%)	26 (42.6%)	0 (-)	0 (-)	15 (48.4%)
合計	1,226	1,121	0	4	61	9	0	31

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	23(1.9%)	15(1.3%)	0(-)	0(-)	7(11.5%)	0(-)	0(-)	1(3.2%)
1歳以上5歳未満	28(2.3%)	13(1.2%)	0(-)	0(-)	15(24.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	9(0.7%)	3(0.3%)	0(-)	0(-)	5(8.2%)	1(11.1%)	0(-)	0(-)
10歳代	9(0.7%)	9(0.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	13(1.1%)	12(1.1%)	0(-)	0(-)	1(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	17(1.4%)	14(1.2%)	0(-)	0(-)	3(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	52(4.2%)	49(4.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	2(22.2%)	0(-)	1(3.2%)
50歳代	91(7.4%)	90(8.0%)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
60歳代	218(17.8%)	203(18.1%)	0(-)	0(-)	6(9.8%)	1(11.1%)	0(-)	8(25.8%)
70歳代	285(23.2%)	258(23.0%)	0(-)	1(25.0%)	12(19.7%)	1(11.1%)	0(-)	13(41.9%)
80歳代	374(30.5%)	353(31.5%)	0(-)	2(50.0%)	9(14.8%)	4(44.4%)	0(-)	6(19.4%)
90歳以上	107(8.7%)	102(9.1%)	0(-)	0(-)	3(4.9%)	0(-)	0(-)	2(6.5%)
合計	1,226	1,121	0	4	61	9	0	31

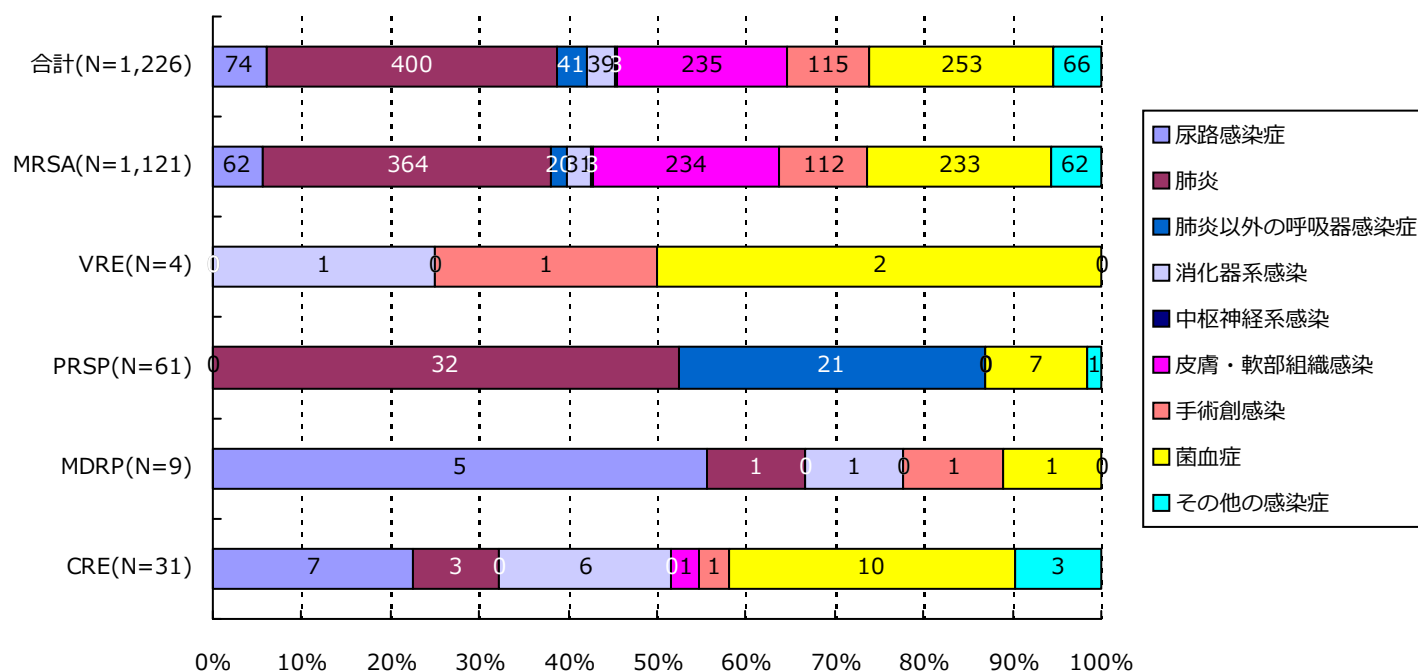
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	450(36.7%)	393(35.1%)	0(-)	0(-)	52(85.2%)	1(11.1%)	0(-)	4(12.9%)
尿検体	66(5.4%)	55(4.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	5(55.6%)	0(-)	6(19.4%)
便検体	12(1.0%)	11(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	0(-)
血液検体	280(22.8%)	256(22.8%)	0(-)	2(50.0%)	8(13.1%)	1(11.1%)	0(-)	13(41.9%)
髄液検体	6(0.5%)	5(0.4%)	0(-)	0(-)	1(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	412(33.6%)	401(35.8%)	0(-)	2(50.0%)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	8(25.8%)
合計	1,226	1,121	0	4	61	9	0	31

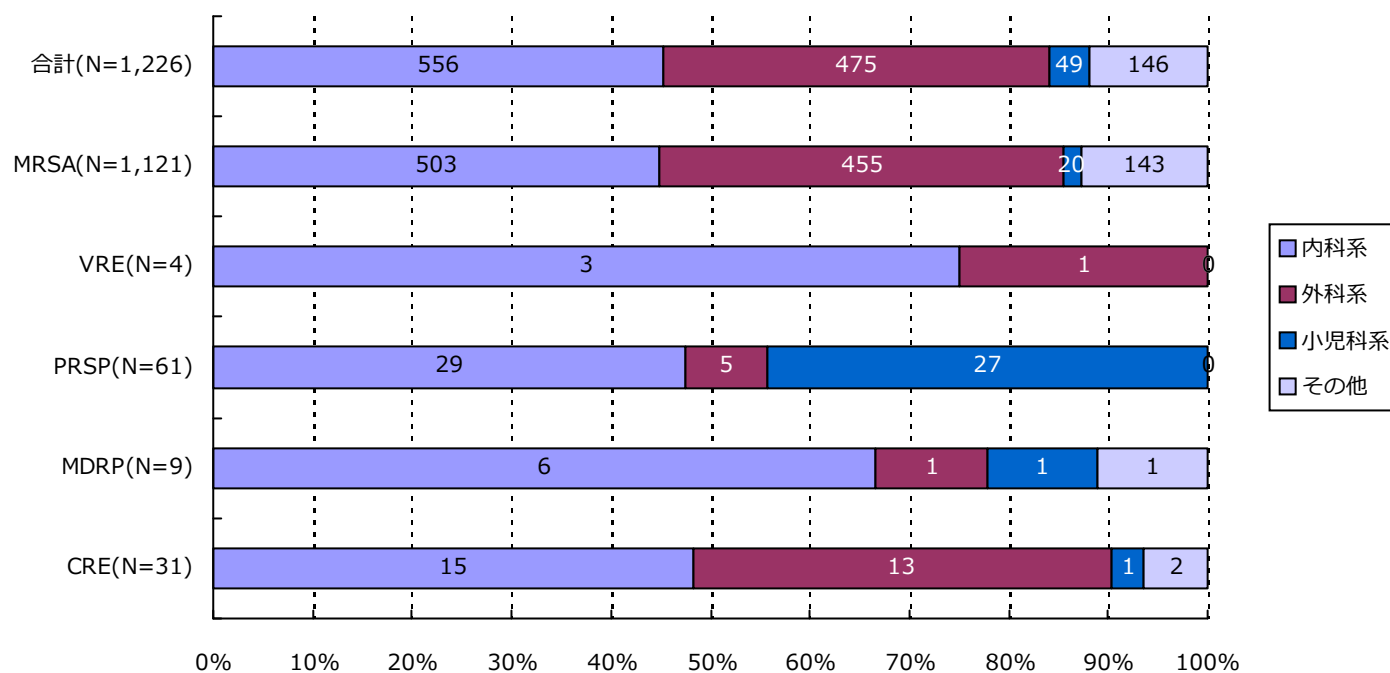
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	74(6.0%)	62(5.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	5(55.6%)	0(-)	7(22.6%)
肺炎	400(32.6%)	364(32.5%)	0(-)	0(-)	32(52.5%)	1(11.1%)	0(-)	3(9.7%)
肺炎以外	41(3.3%)	20(1.8%)	0(-)	0(-)	21(34.4%)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	39(3.2%)	31(2.8%)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	6(19.4%)
中枢神経系	3(0.2%)	3(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	235(19.2%)	234(20.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(3.2%)
手術創	115(9.4%)	112(10.0%)	0(-)	1(25.0%)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	1(3.2%)
菌血症	253(20.6%)	233(20.8%)	0(-)	2(50.0%)	7(11.5%)	1(11.1%)	0(-)	10(32.3%)
その他	66(5.4%)	62(5.5%)	0(-)	0(-)	1(1.6%)	0(-)	0(-)	3(9.7%)
合計	1,226	1,121	0	4	61	9	0	31

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	556(45.4%)	503(44.9%)	0(-)	3(75.0%)	29(47.5%)	6(66.7%)	0(-)	15(48.4%)
外科系	475(38.7%)	455(40.6%)	0(-)	1(25.0%)	5(8.2%)	1(11.1%)	0(-)	13(41.9%)
小児科系	49(4.0%)	20(1.8%)	0(-)	0(-)	27(44.3%)	1(11.1%)	0(-)	1(3.2%)
その他	146(11.9%)	143(12.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	2(6.5%)
合計	1,226	1,121	0	4	61	9	0	31

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・ 資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・ 資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
小児科系	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター
その他	性病科
	神経科
	精神科
	放射線科
	総合診療部
	救急部
	救急・集中治療部
	集中治療部(ICU)
	冠動脈疾患集中治療部(CCU)
	内視鏡科
	透析科
	理学療法・リハビリテーション科
	理学療法科
	リハビリテーション科
	麻酔科
	その他

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

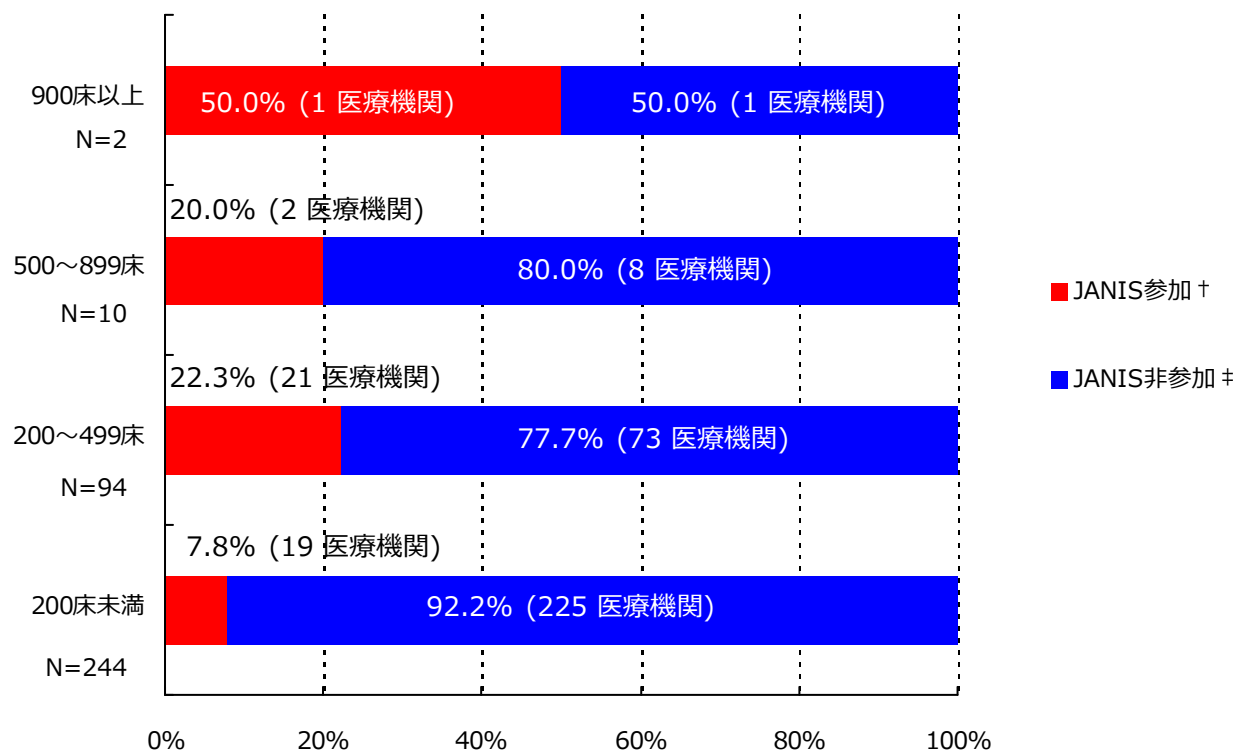
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生动向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(43医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	2	1 (50%)
500～899床	10	2 (20%)
200～499床	94	21 (22.3%)
200床未満	244	19 (7.8%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	350	43 (12.3%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(兵庫県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

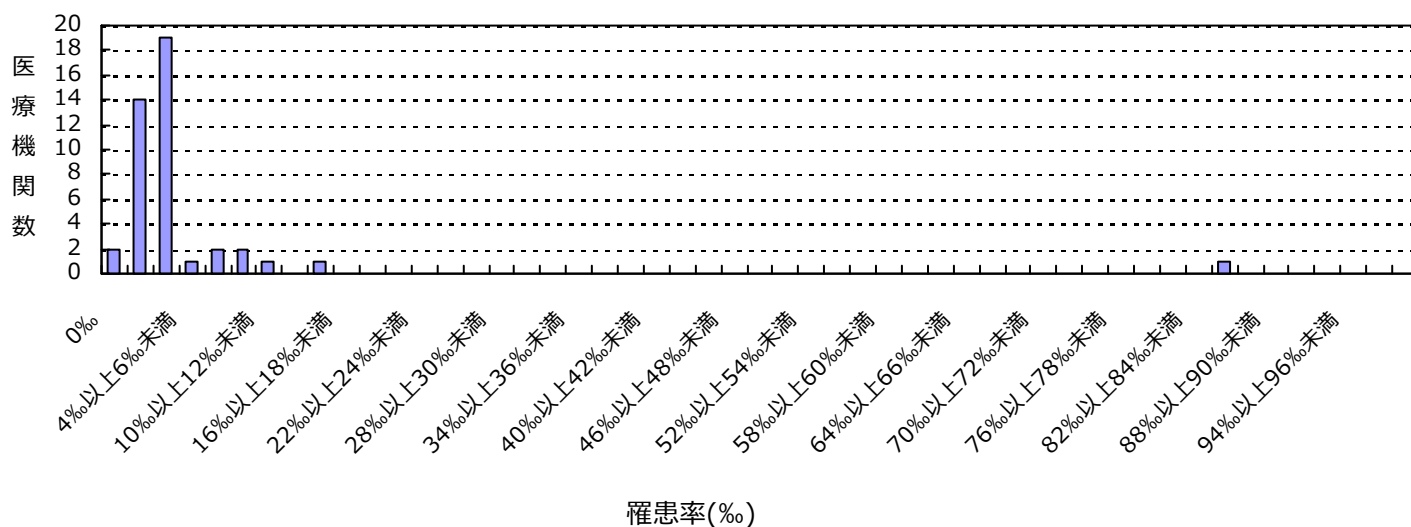


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	255,189	9	831	3.26%	0.00 2.52 85.71

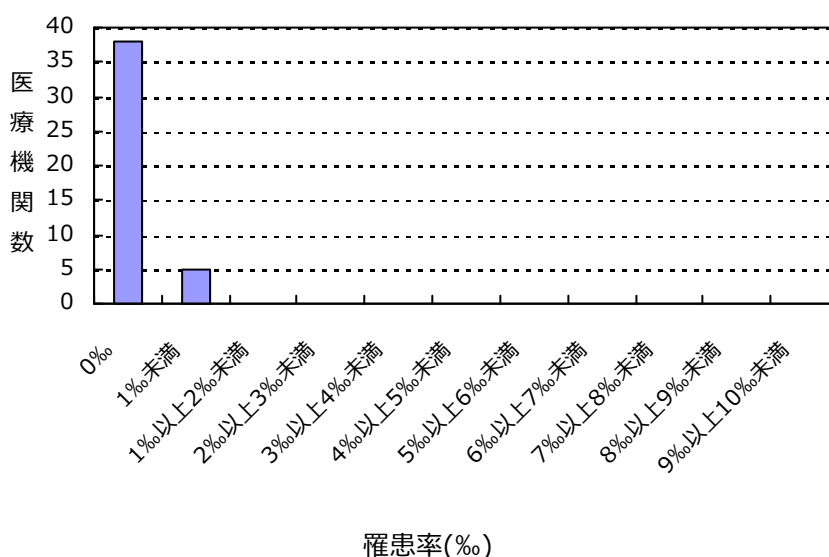
集計対象医療機関の罹患率(N=43)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	255,189	0	9	0.04%	0.00 0.00 0.81

集計対象医療機関の罹患率(N=43)



(兵庫県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

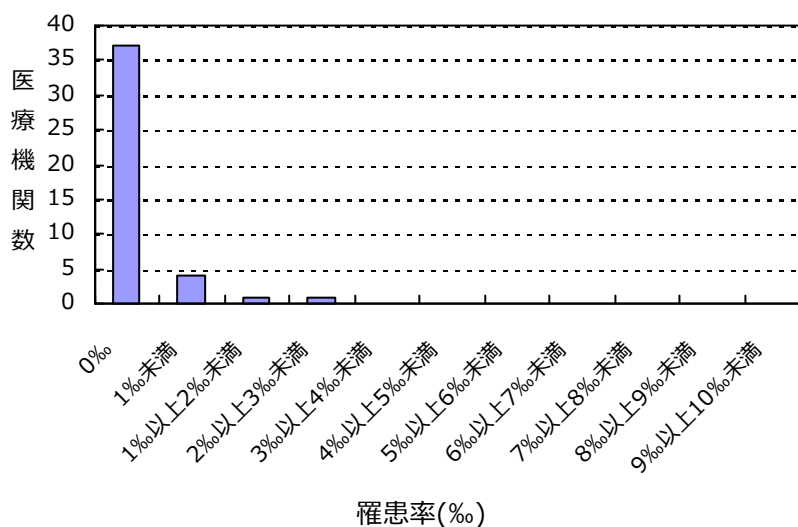


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	255,189	0	9	0.04%	0.00 0.00 2.97 H

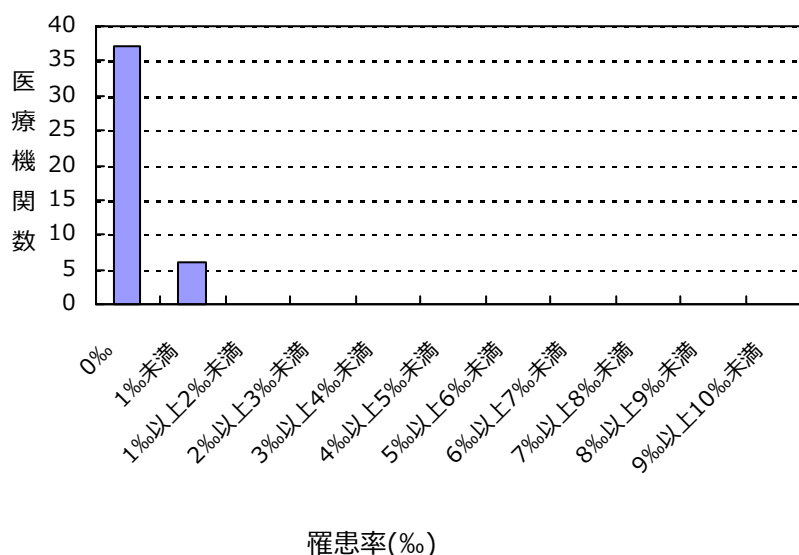
集計対象医療機関の罹患率(N=43)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	255,189	0	25	0.10%	0.00 0.00 0.65

集計対象医療機関の罹患率(N=43)



(兵庫県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

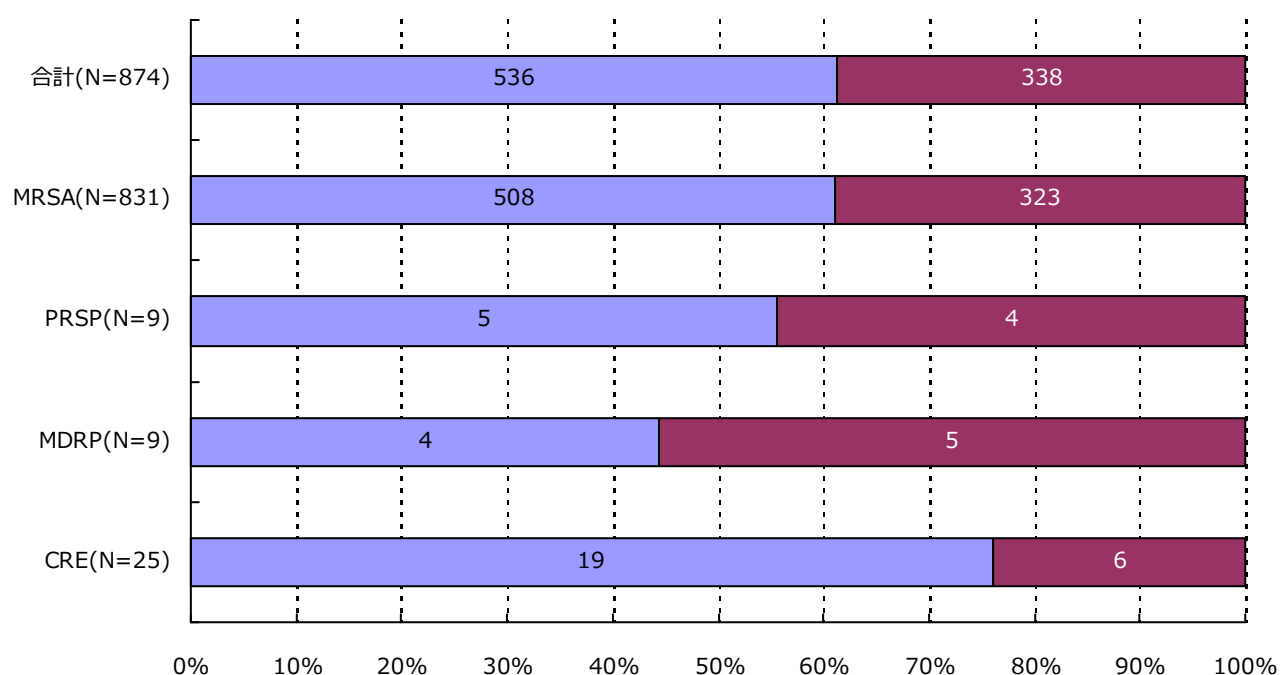
(兵庫県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	536 (61.3%)	508 (61.1%)	0 (-)	0 (-)	5 (55.6%)	4 (44.4%)	0 (-)	19 (76.0%)
女	338 (38.7%)	323 (38.9%)	0 (-)	0 (-)	4 (44.4%)	5 (55.6%)	0 (-)	6 (24.0%)
合計	874	831	0	0	9	9	0	25

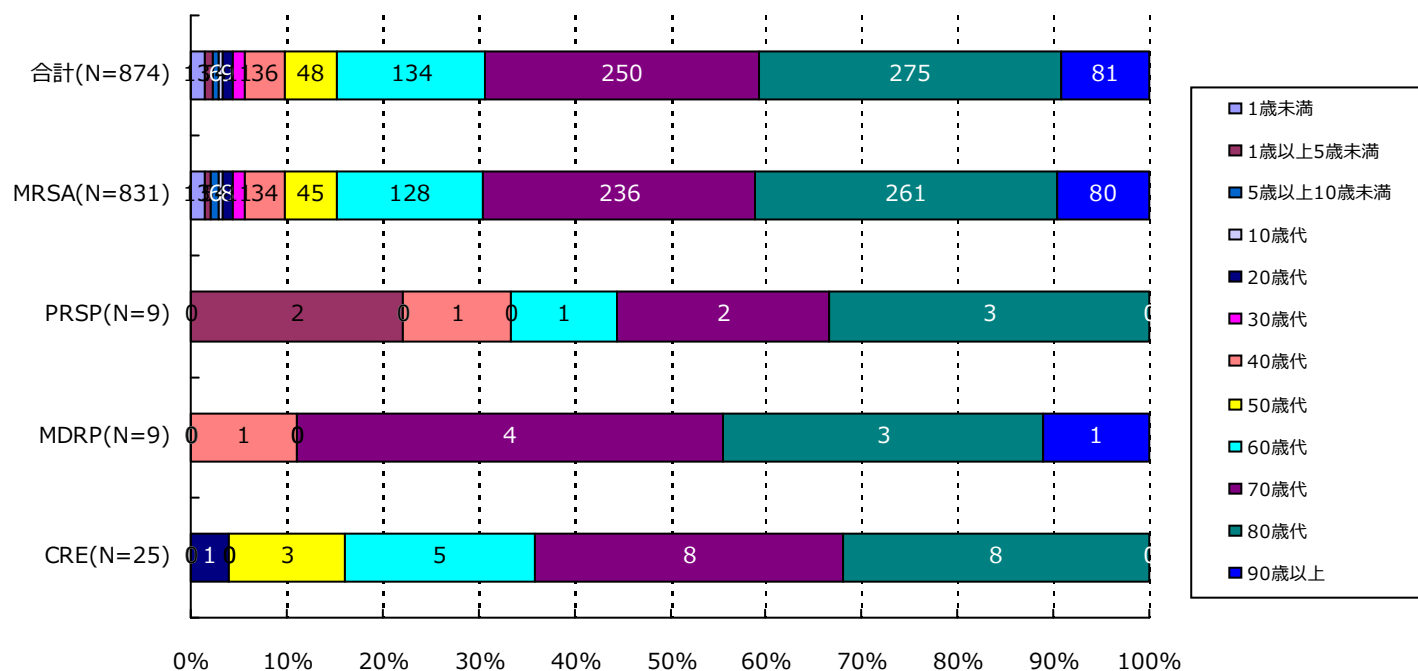
(兵庫県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	13(1.5%)	13(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	7(0.8%)	5(0.6%)	0(-)	0(-)	2(22.2%)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	6(0.7%)	6(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	4(0.5%)	4(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	9(1.0%)	8(1.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.0%)
30歳代	11(1.3%)	11(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	36(4.1%)	34(4.1%)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	1(11.1%)	0(-)	0(-)
50歳代	48(5.5%)	45(5.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	3(12.0%)
60歳代	134(15.3%)	128(15.4%)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	0(-)	5(20.0%)
70歳代	250(28.6%)	236(28.4%)	0(-)	0(-)	2(22.2%)	4(44.4%)	0(-)	8(32.0%)
80歳代	275(31.5%)	261(31.4%)	0(-)	0(-)	3(33.3%)	3(33.3%)	0(-)	8(32.0%)
90歳以上	81(9.3%)	80(9.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	0(-)
合計	874	831	0	0	9	9	0	25

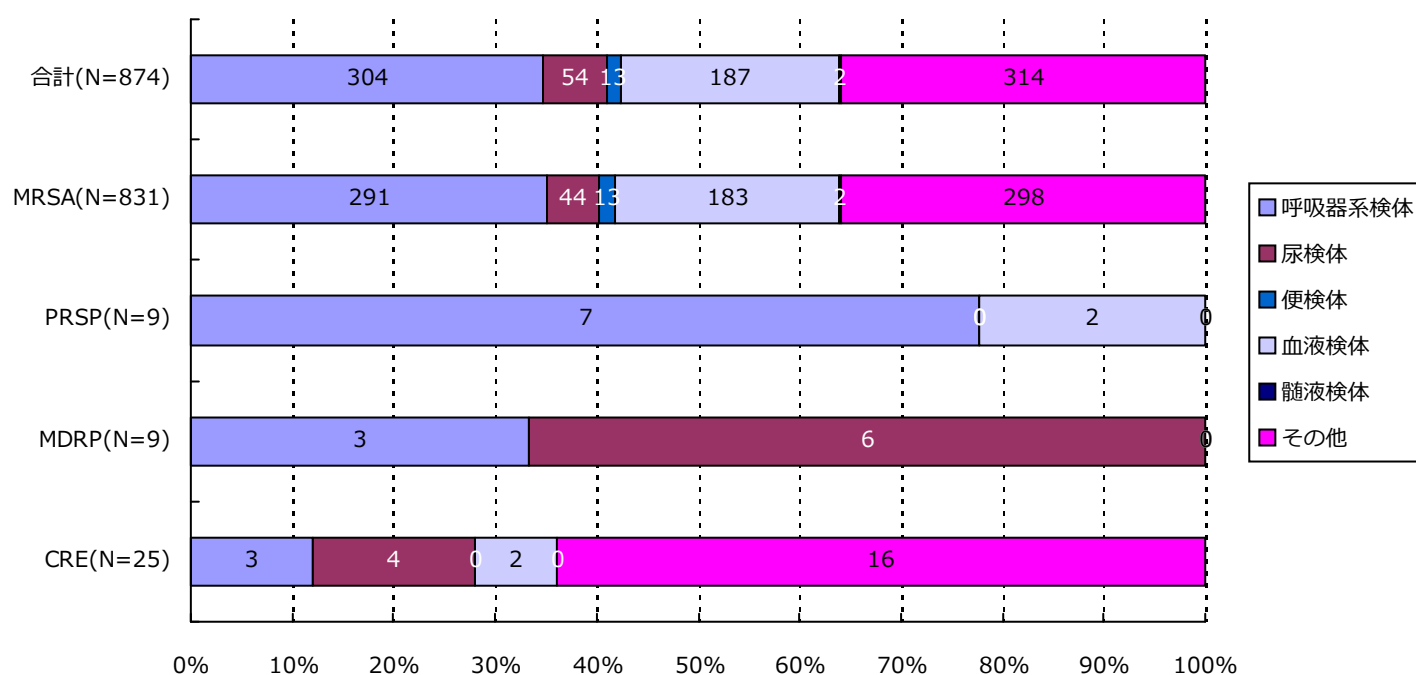
(兵庫県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	304(34.8%)	291(35.0%)	0(-)	0(-)	7(77.8%)	3(33.3%)	0(-)	3(12.0%)
尿検体	54(6.2%)	44(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	6(66.7%)	0(-)	4(16.0%)
便検体	13(1.5%)	13(1.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	187(21.4%)	183(22.0%)	0(-)	0(-)	2(22.2%)	0(-)	0(-)	2(8.0%)
髄液検体	2(0.2%)	2(0.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	314(35.9%)	298(35.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	16(64.0%)
合計	874	831	0	0	9	9	0	25

*検体区分については巻末の資料 1 を参照

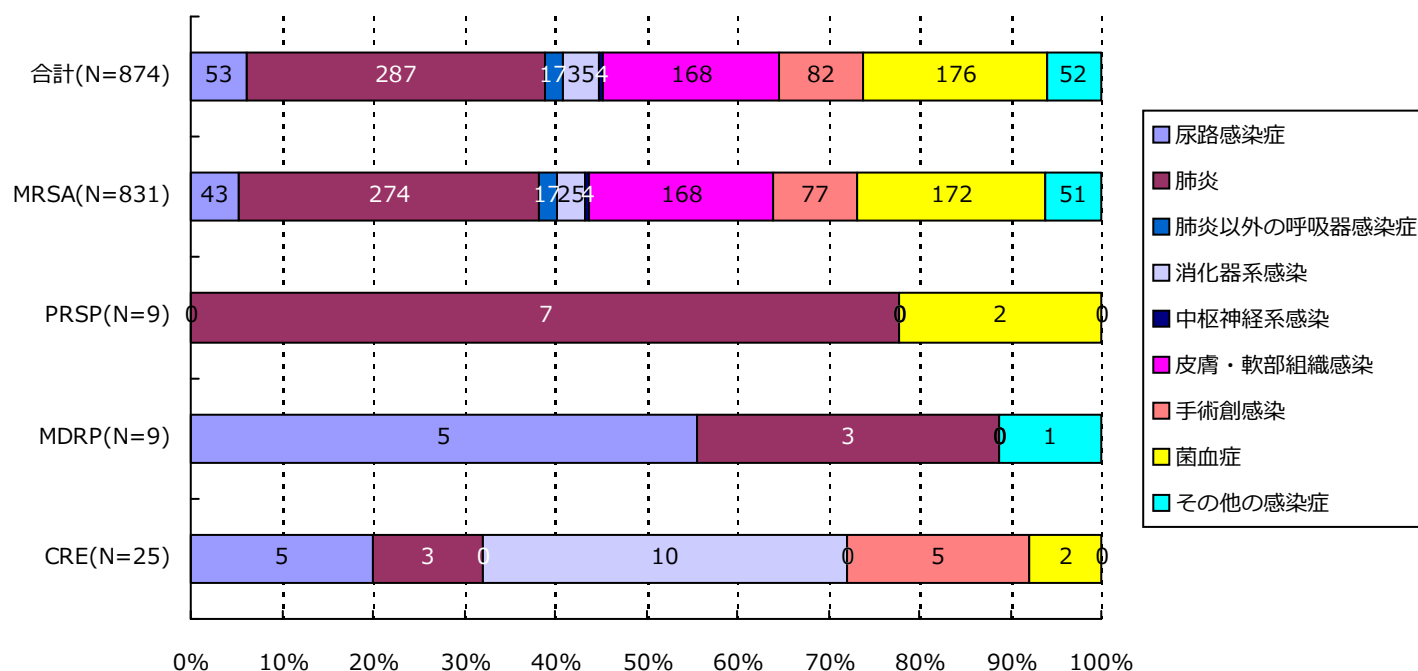
(兵庫県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	53(6.1%)	43(5.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	5(55.6%)	0(-)	5(20.0%)
肺炎	287(32.8%)	274(33.0%)	0(-)	0(-)	7(77.8%)	3(33.3%)	0(-)	3(12.0%)
肺炎以外	17(1.9%)	17(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	35(4.0%)	25(3.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	10(40.0%)
中枢神経系	4(0.5%)	4(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	168(19.2%)	168(20.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
手術創	82(9.4%)	77(9.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(20.0%)
菌血症	176(20.1%)	172(20.7%)	0(-)	0(-)	2(22.2%)	0(-)	0(-)	2(8.0%)
その他	52(5.9%)	51(6.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	0(-)	0(-)
合計	874	831	0	0	9	9	0	25

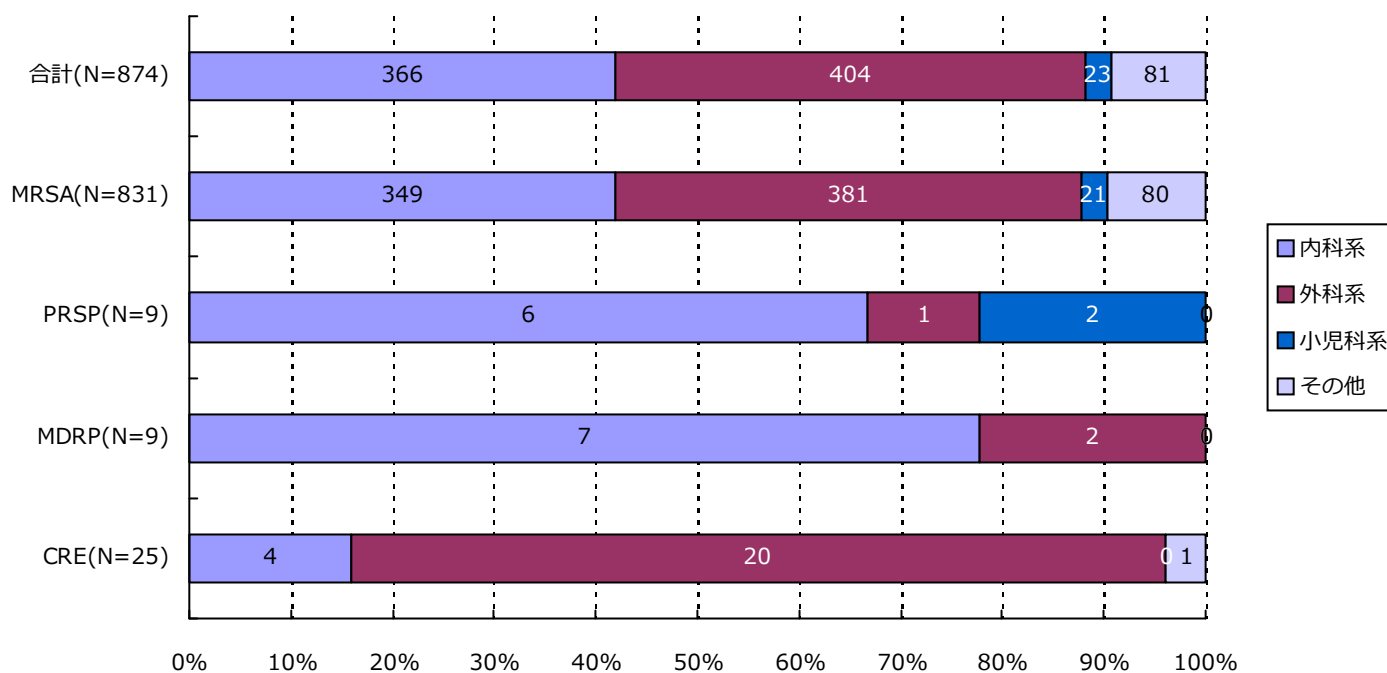
(兵庫県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	366(41.9%)	349(42.0%)	0(-)	0(-)	6(66.7%)	7(77.8%)	0(-)	4(16.0%)
外科系	404(46.2%)	381(45.8%)	0(-)	0(-)	1(11.1%)	2(22.2%)	0(-)	20(80.0%)
小児科系	23(2.6%)	21(2.5%)	0(-)	0(-)	2(22.2%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	81(9.3%)	80(9.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(4.0%)
合計	874	831	0	0	9	9	0	25

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
小児科系	脳神経外科
	形成外科
	歯科口腔外科
	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

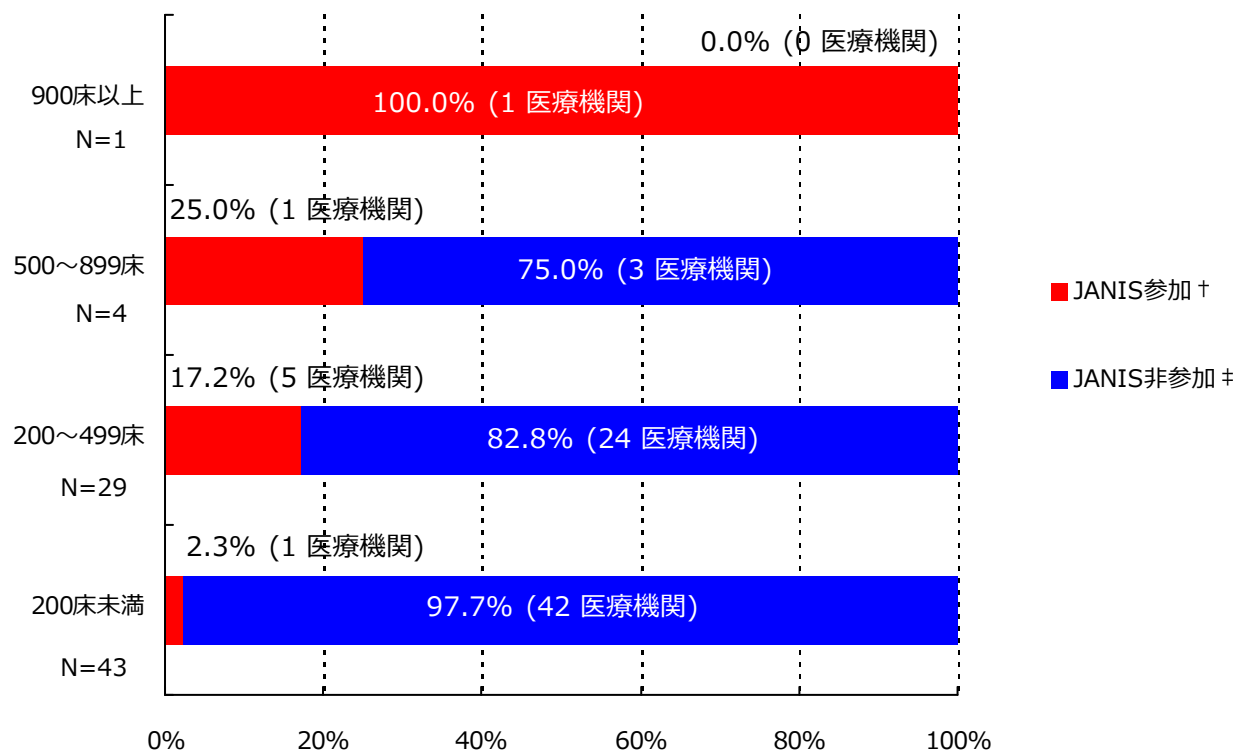
菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

1. データ提出医療機関*数(8医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	1	1 (100%)
500～899床	4	1 (25%)
200～499床	29	5 (17.2%)
200床未満	43	1 (2.3%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	77	8 (10.4%)

¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

(奈良県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

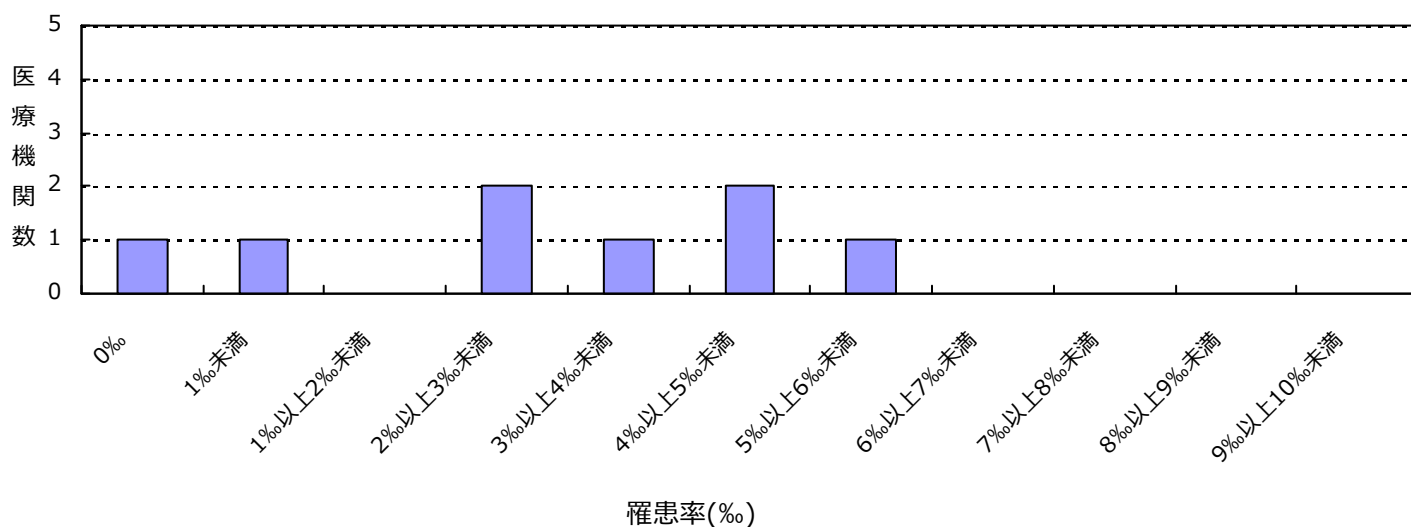


2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
MRSA	61,062	3	220	3.60%	0.00 3.25 5.27 ----- -----

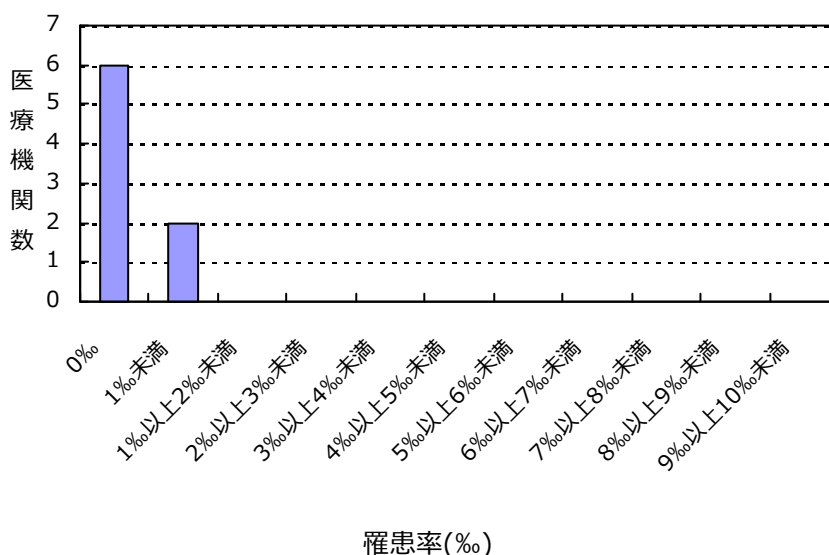
集計対象医療機関の罹患率(N=8)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(%)の分布
PRSP	61,062	0	14	0.23%	0.00 0.00 0.66 ----- -----

集計対象医療機関の罹患率(N=8)



(奈良県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門

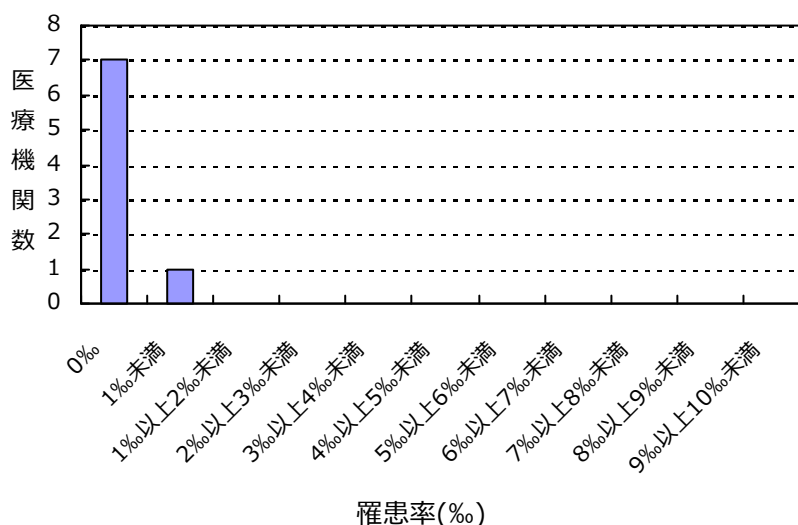


2. 新規感染症患者数と罹患率

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MDRP	61,062	0	1	0.02%	0.00 0.00 0.05

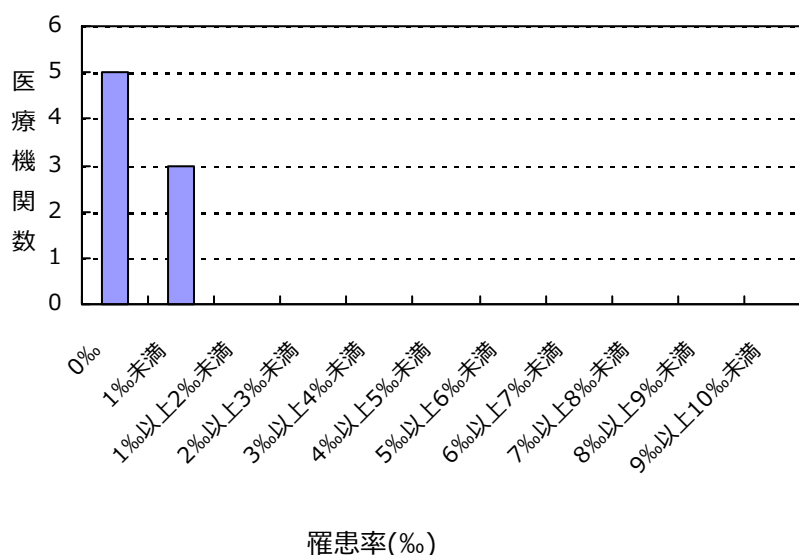
集計対象医療機関の罹患率(N=8)



カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	61,062	0	11	0.18%	0.00 0.00 0.31

集計対象医療機関の罹患率(N=8)



(奈良県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

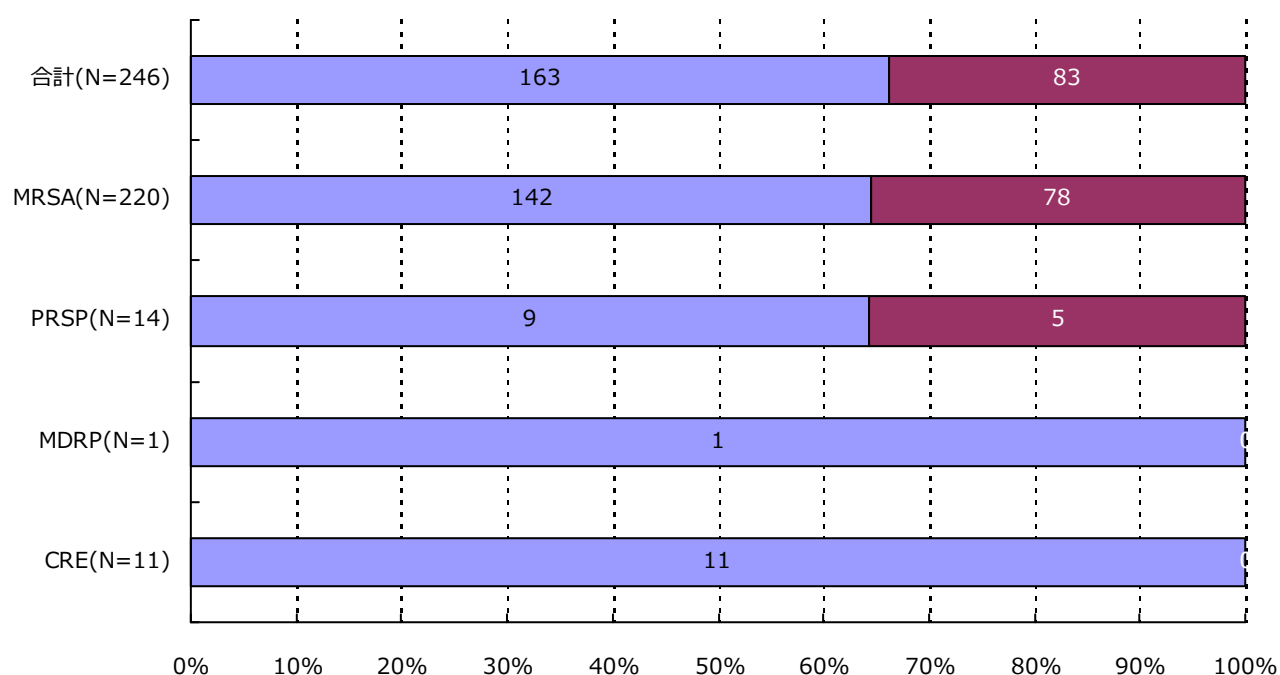
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

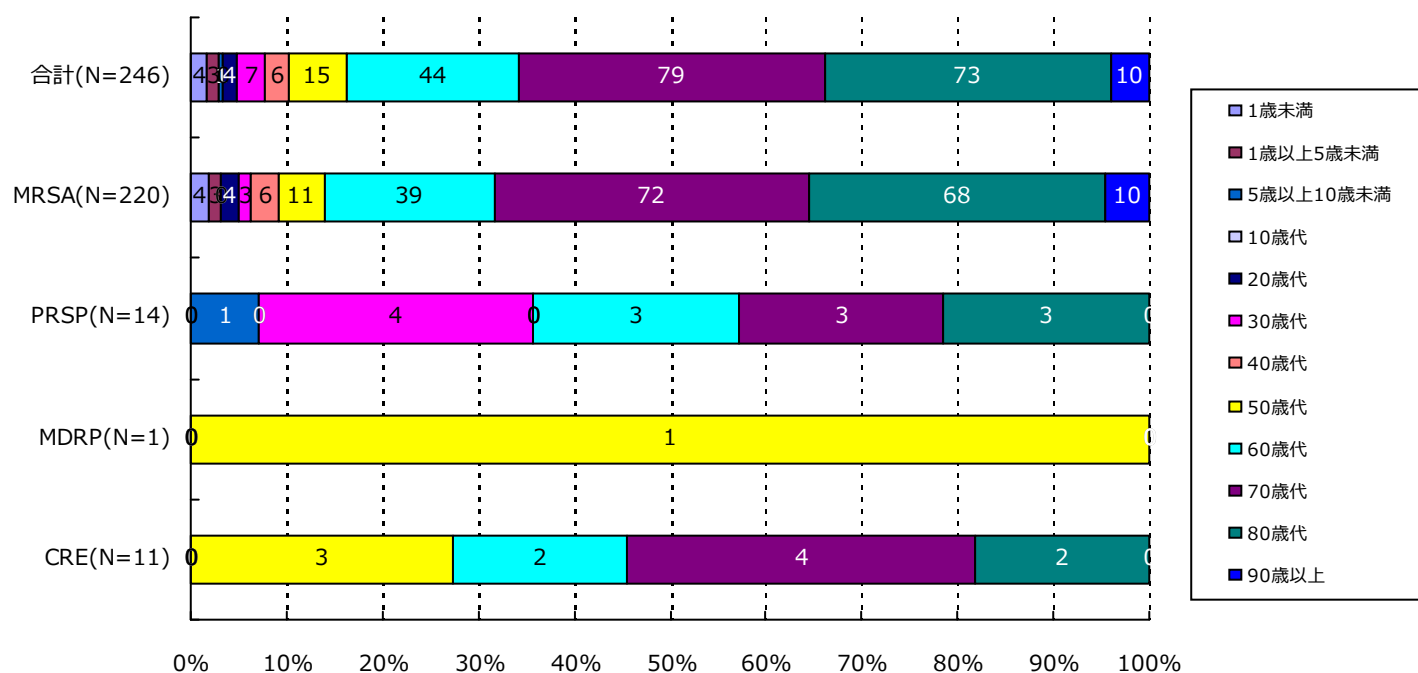
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



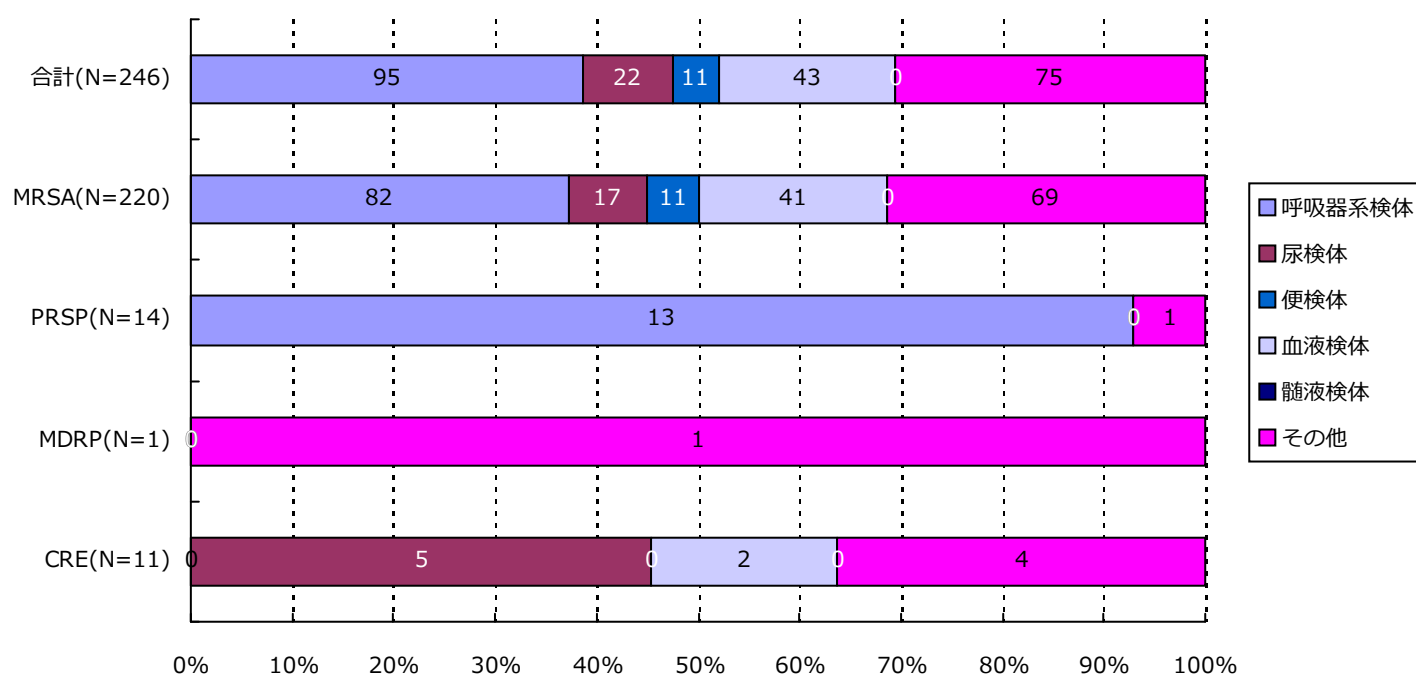
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	163 (66.3%)	142 (64.5%)	0 (-)	0 (-)	9 (64.3%)	1 (100.0%)	0 (-)	11 (100.0%)
女	83 (33.7%)	78 (35.5%)	0 (-)	0 (-)	5 (35.7%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)
合計	246	220	0	0	14	1	0	11

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	4(1.6%)	4(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	3(1.2%)	3(1.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	4(1.6%)	4(1.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	7(2.8%)	3(1.4%)	0(-)	0(-)	4(28.6%)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	6(2.4%)	6(2.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	15(6.1%)	11(5.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	1(100.0%)	0(-)	3(27.3%)
60歳代	44(17.9%)	39(17.7%)	0(-)	0(-)	3(21.4%)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
70歳代	79(32.1%)	72(32.7%)	0(-)	0(-)	3(21.4%)	0(-)	0(-)	4(36.4%)
80歳代	73(29.7%)	68(30.9%)	0(-)	0(-)	3(21.4%)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
90歳以上	10(4.1%)	10(4.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	246	220	0	0	14	1	0	11

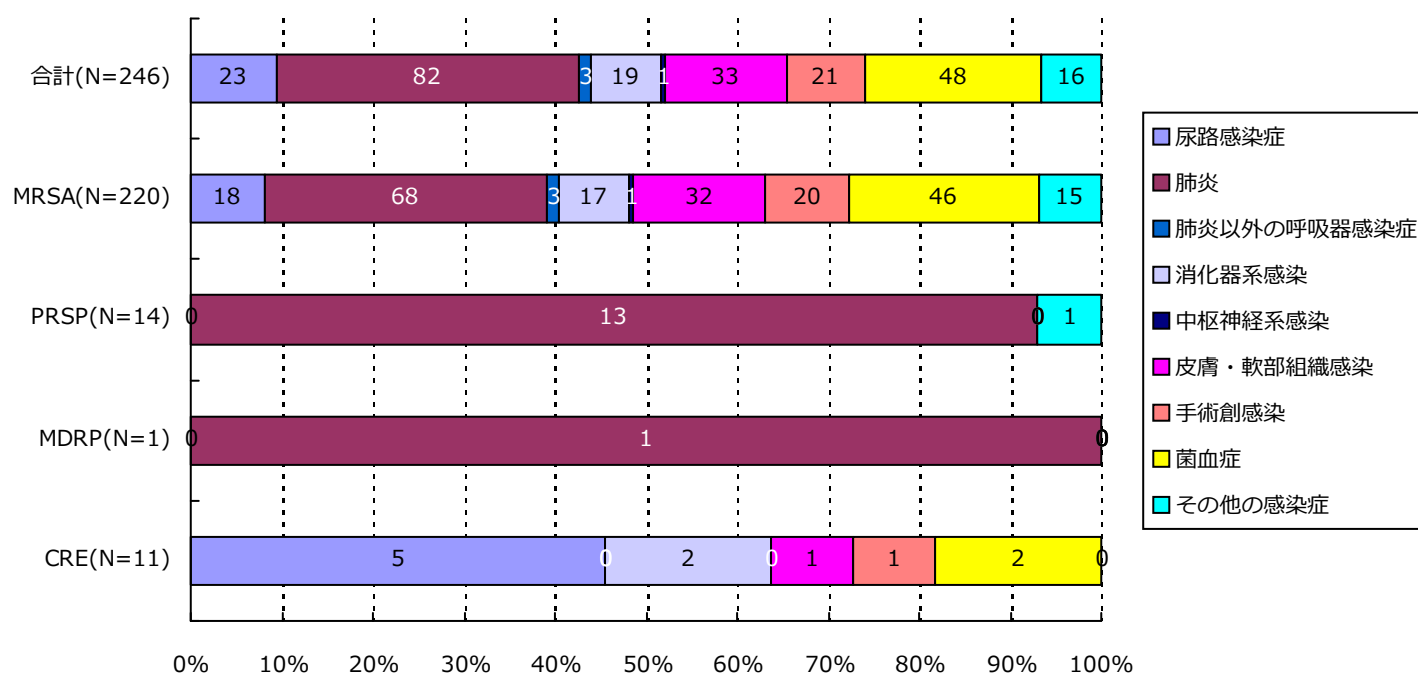
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	95(38.6%)	82(37.3%)	0(-)	0(-)	13(92.9%)	0(-)	0(-)	0(-)
尿検体	22(8.9%)	17(7.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(45.5%)
便検体	11(4.5%)	11(5.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	43(17.5%)	41(18.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	75(30.5%)	69(31.4%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	1(100.0%)	0(-)	4(36.4%)
合計	246	220	0	0	14	1	0	11

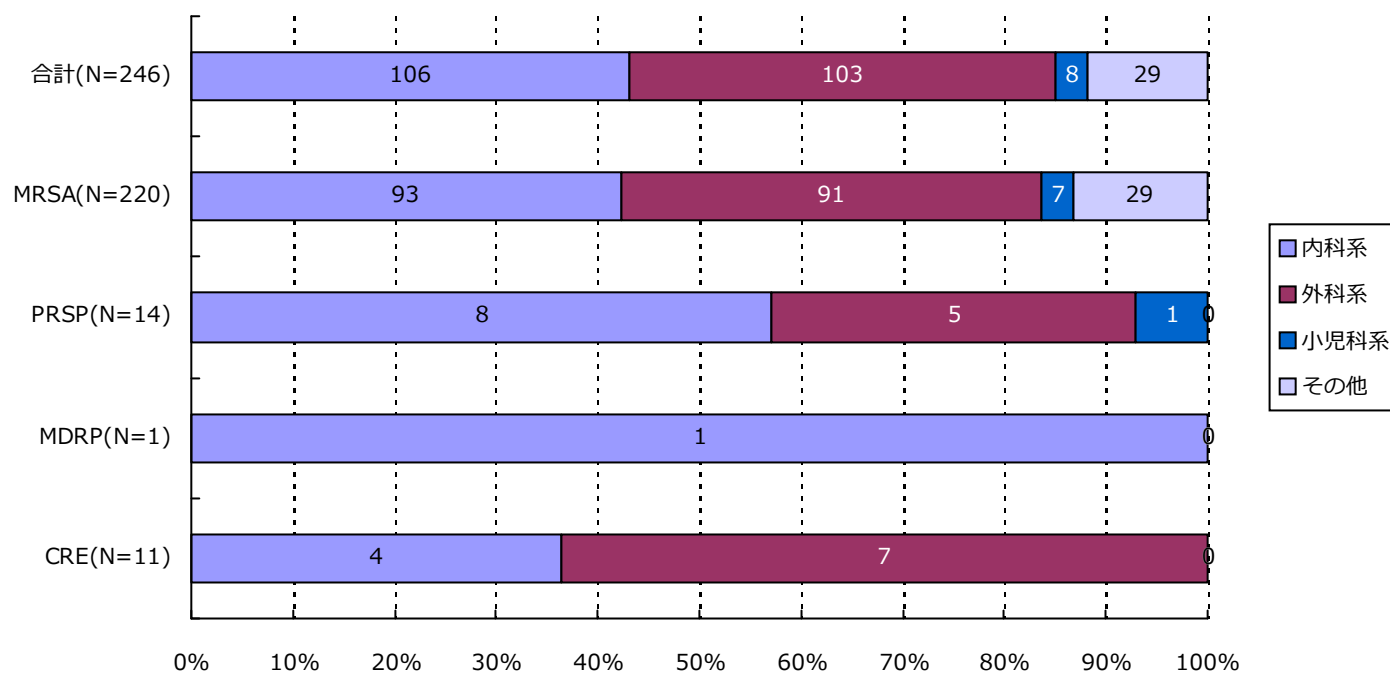
*検体区分については巻末の資料 1 を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	23(9.3%)	18(8.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	5(45.5%)
肺炎	82(33.3%)	68(30.9%)	0(-)	0(-)	13(92.9%)	1(100.0%)	0(-)	0(-)
肺炎以外	3(1.2%)	3(1.4%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	19(7.7%)	17(7.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
中枢神経系	1(0.4%)	1(0.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	33(13.4%)	32(14.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
手術創	21(8.5%)	20(9.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(9.1%)
菌血症	48(19.5%)	46(20.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(18.2%)
その他	16(6.5%)	15(6.8%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	246	220	0	0	14	1	0	11

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	106(43.1%)	93(42.3%)	0(-)	0(-)	8(57.1%)	1(100.0%)	0(-)	4(36.4%)
外科系	103(41.9%)	91(41.4%)	0(-)	0(-)	5(35.7%)	0(-)	0(-)	7(63.6%)
小児科系	8(3.3%)	7(3.2%)	0(-)	0(-)	1(7.1%)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	29(11.8%)	29(13.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	246	220	0	0	14	1	0	11

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
	皮膚科
	脳神経外科
	形成外科
歯科口腔外科	
小児科系	歯科
	小児歯科
	矯正歯科
	口腔外科
	手術部
	移植・人工臓器科
	小児科
新生児科	
新生児集中治療部(NICU)	
周産期センター	

資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

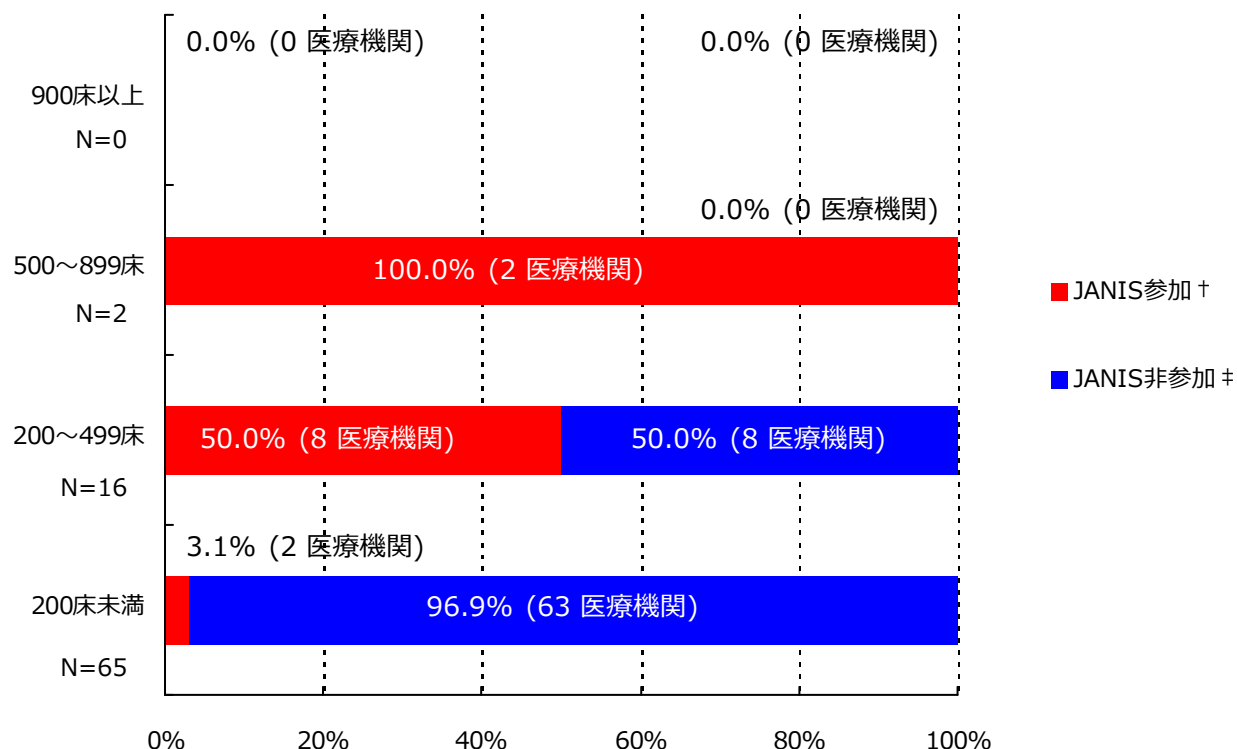
+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用

(和歌山県)
公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)
院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



1. データ提出医療機関*数(12医療機関)



*ここではデータ提出医療機関は集計対象医療機関を表す

† JANIS参加 = 2017年1月～12月 集計対象医療機関数

‡ JANIS非参加 = (2016年 都道府県別医療機関数¶) - (2017年1月～12月 集計対象医療機関数)

病床数	2016年 都道府県別医療機関数¶	2017年1月～12月 集計対象医療機関数 (都道府県別医療機関数に占める割合)
900床以上	0	0 (-)
500～899床	2	2 (100%)
200～499床	16	8 (50%)
200床未満	65	2 (3.1%)
病床数不明	-	0 (-)
合計	83	12 (14.5%)

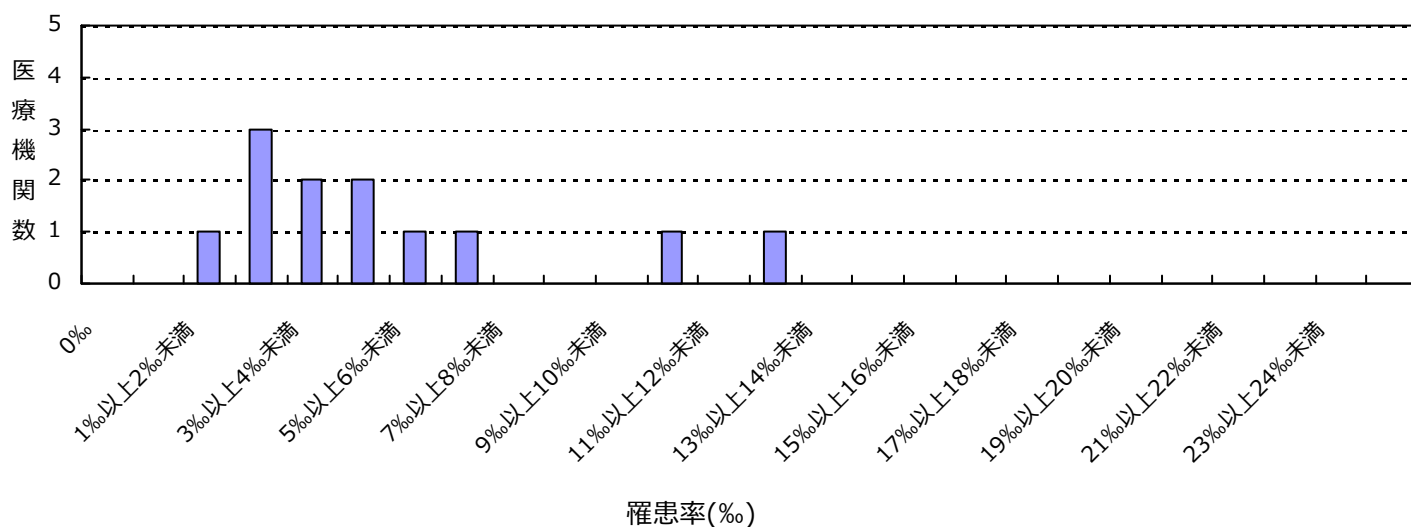
¶平成28年医療施設（動態）調査を参照した。

2. 新規感染症患者数と罹患率

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
MRSA	85,065	4	303	3.56%	1.88 3.78 12.44

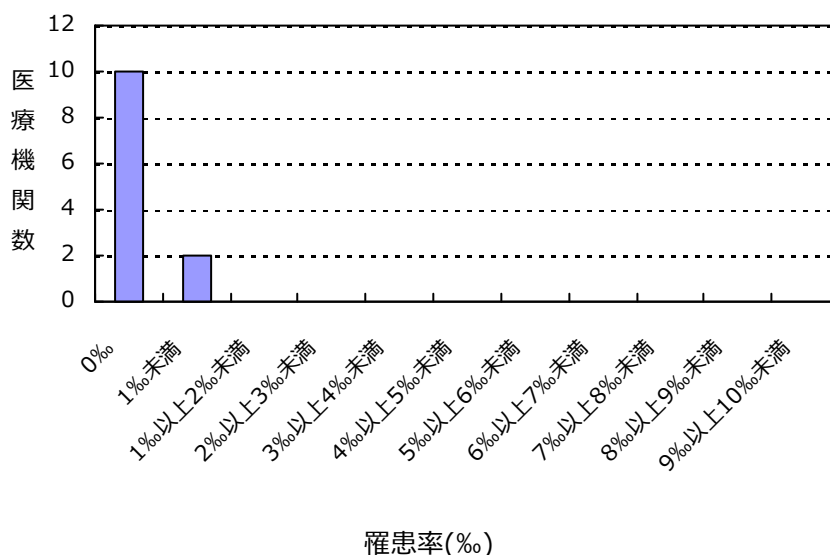
集計対象医療機関の罹患率(N=12)



ペニシリン耐性肺炎球菌(PRSP)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
PRSP	85,065	0	2	0.02%	0.00 0.00 0.28

集計対象医療機関の罹患率(N=12)

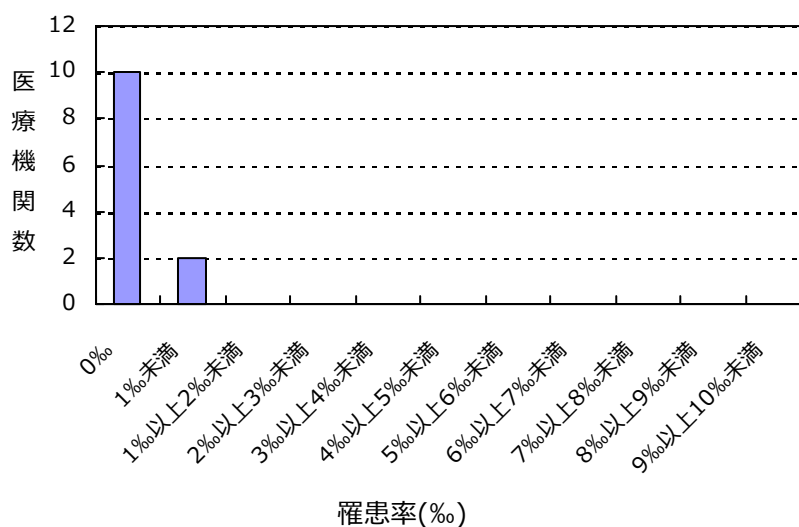


2. 新規感染症患者数と罹患率

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(CRE)感染症

薬剤耐性菌名	総入院患者数	継続感染症患者数	新規感染症患者数	全体の罹患率	集計対象医療機関の罹患率(‰)の分布
CRE	85,065	0	4	0.05‰	0.00 0.00 0.47

集計対象医療機関の罹患率(N=12)



(和歌山県)

公開情報 2017年1月～12月 年報(全集計対象医療機関)

院内感染対策サーベイランス 全入院患者部門



2. 新規感染症患者数と罹患率

バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌(VRSA)感染症の報告はありませんでした

バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性緑膿菌(MDRP)感染症の報告はありませんでした

多剤耐性アシネトバクター属(MDRA)感染症の報告はありませんでした

総入院患者数、新規感染症患者数、罹患率の説明

総入院患者数 = (対象期間の各月の新規入院患者数の合計) + (対象期間の一番初めの月の継続入院患者数)

感染症患者数 = (新規感染症患者数) + (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)

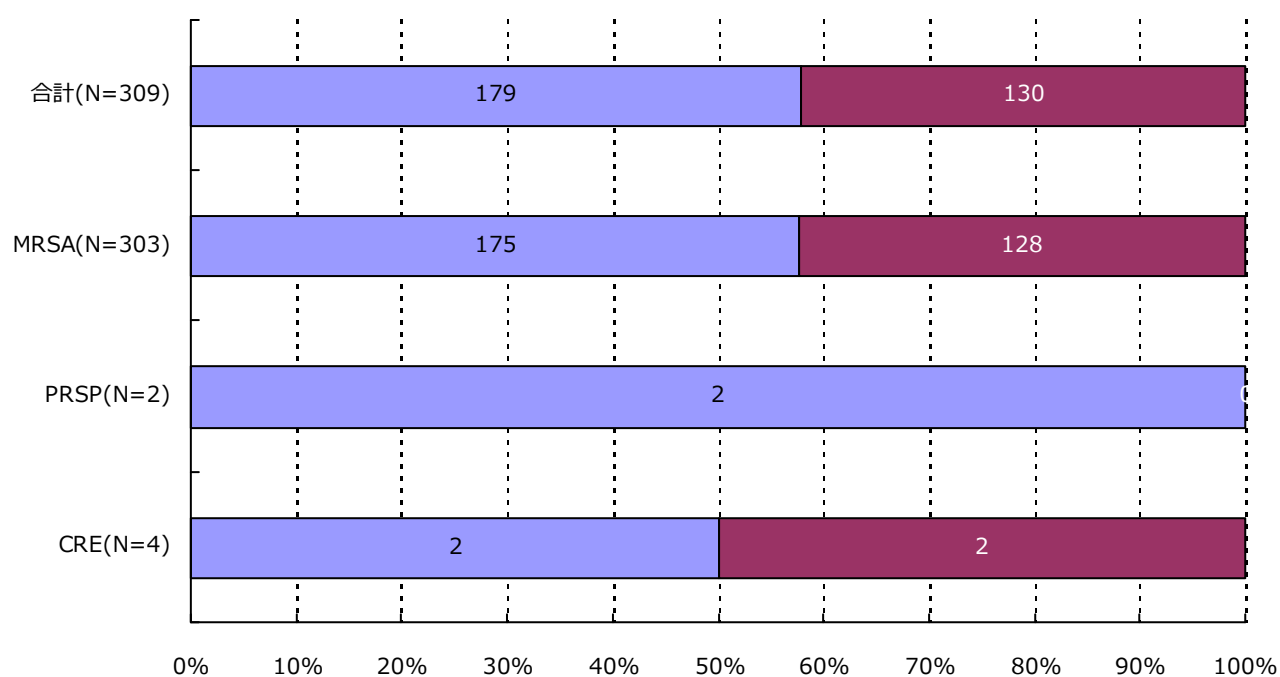
新規感染症患者数 = 対象期間の各月の新規感染症患者数の合計

継続感染症患者数 = 対象期間の一番初めの月より前に新規感染症患者とされ、対象期間の一番初めの月に改めて検査した際にも、継続的に同じ耐性菌に感染していた患者の数

罹患率 = (新規感染症患者数) ÷ ((総入院患者数) - (対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数)) × 1000

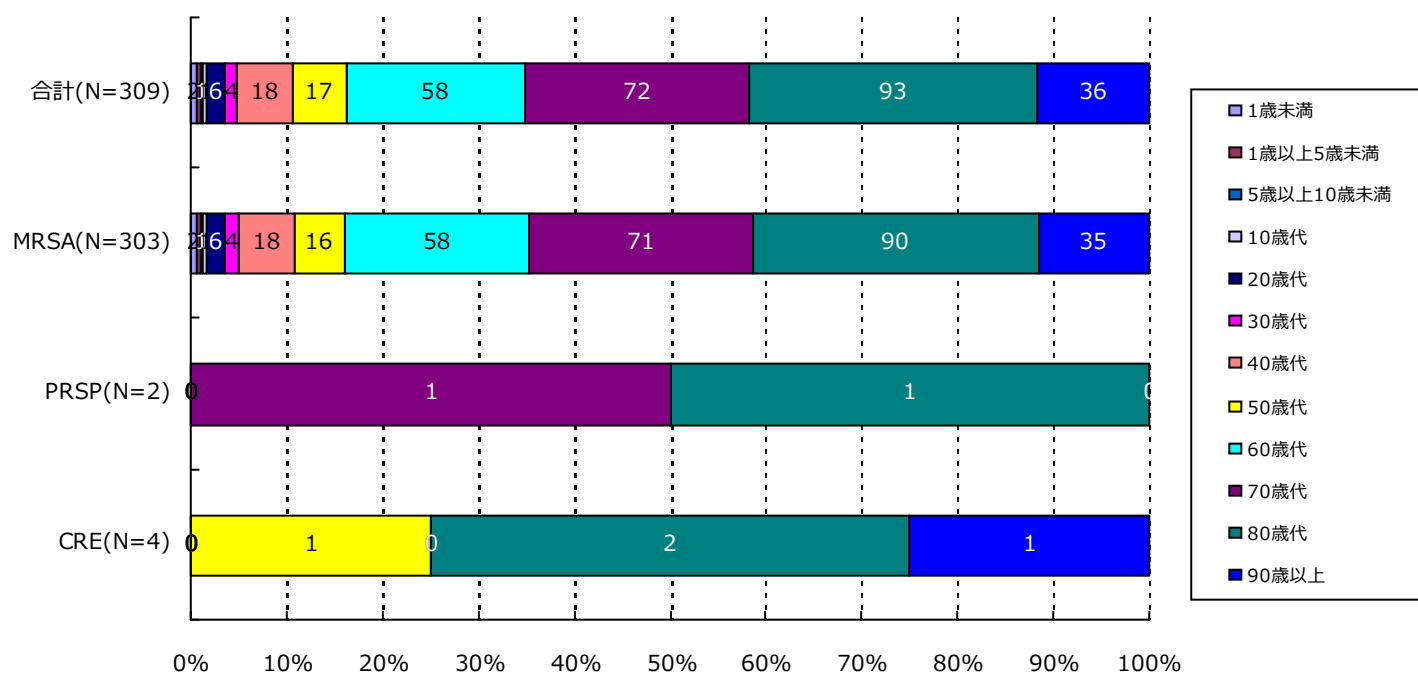
全体の罹患率 = (集計対象医療機関の新規感染症患者数合計) ÷ ((集計対象医療機関の総入院患者数合計) - (集計対象医療機関の対象期間の一番初めの月の継続感染症患者数合計)) × 1000

3. 耐性菌新規感染症患者の性別内訳



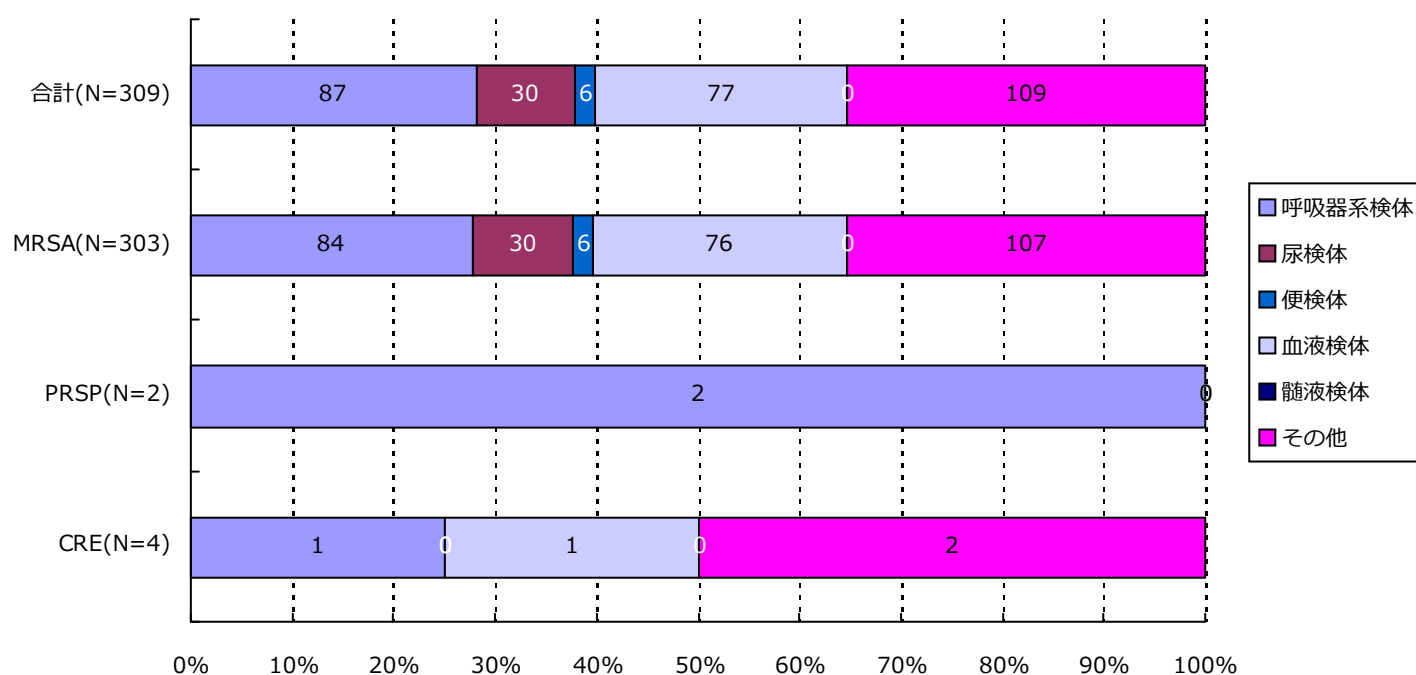
分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
男	179 (57.9%)	175 (57.8%)	0 (-)	0 (-)	2 (100.0%)	0 (-)	0 (-)	2 (50.0%)
女	130 (42.1%)	128 (42.2%)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	0 (-)	2 (50.0%)
合計	309	303	0	0	2	0	0	4

4. 耐性菌新規感染症患者の年齢別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
1歳未満	2(0.6%)	2(0.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
1歳以上5歳未満	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
5歳以上10歳未満	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
10歳代	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
20歳代	6(1.9%)	6(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
30歳代	4(1.3%)	4(1.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
40歳代	18(5.8%)	18(5.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
50歳代	17(5.5%)	16(5.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
60歳代	58(18.8%)	58(19.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
70歳代	72(23.3%)	71(23.4%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	0(-)
80歳代	93(30.1%)	90(29.7%)	0(-)	0(-)	1(50.0%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
90歳以上	36(11.7%)	35(11.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
合計	309	303	0	0	2	0	0	4

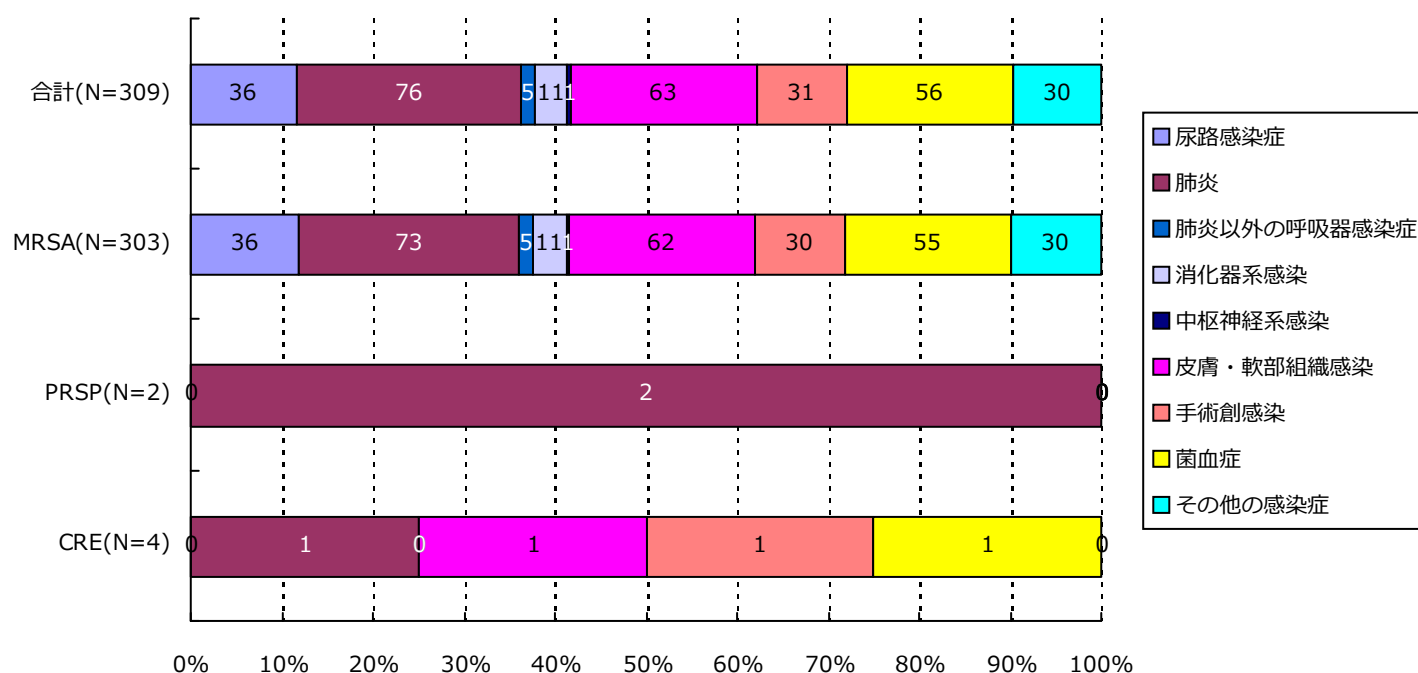
5. 耐性菌新規感染症患者の検体*内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
呼吸器系	87(28.2%)	84(27.7%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
尿検体	30(9.7%)	30(9.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
便検体	6(1.9%)	6(2.0%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
血液検体	77(24.9%)	76(25.1%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
髄液検体	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	109(35.3%)	107(35.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
合計	309	303	0	0	2	0	0	4

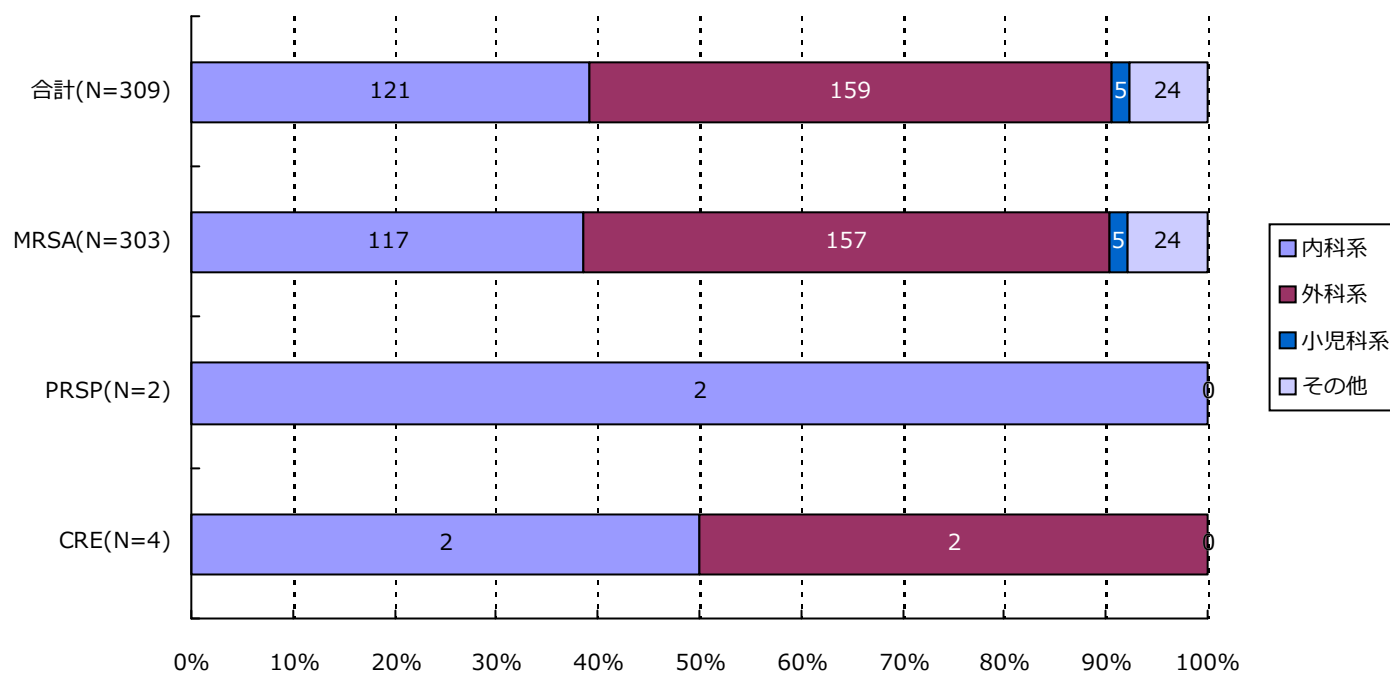
*検体区分については巻末の資料1を参照

6. 耐性菌新規感染症患者の感染症名別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
尿路	36(11.7%)	36(11.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
肺炎	76(24.6%)	73(24.1%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
肺炎以外	5(1.6%)	5(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
消化器系	11(3.6%)	11(3.6%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
中枢神経系	1(0.3%)	1(0.3%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
皮膚・軟部	63(20.4%)	62(20.5%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
手術創	31(10.0%)	30(9.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
菌血症	56(18.1%)	55(18.2%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	1(25.0%)
その他	30(9.7%)	30(9.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	309	303	0	0	2	0	0	4

7. 耐性菌新規感染症患者の診療科*別内訳



分類	合計	MRSA	VRSA	VRE	PRSP	MDRP	MDRA	CRE
内科系	121(39.2%)	117(38.6%)	0(-)	0(-)	2(100.0%)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
外科系	159(51.5%)	157(51.8%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	2(50.0%)
小児科系	5(1.6%)	5(1.7%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
その他	24(7.8%)	24(7.9%)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)	0(-)
合計	309	303	0	0	2	0	0	4

*診療科の内訳については巻末の資料2を参照

・資料 1

呼吸器系検体	喀出痰
	気管内採痰
	気管支洗浄液
	咽頭粘液
	鼻腔内
	口腔内
	生検材料(肺)
	胸水
	その他(呼吸器)
尿検体	自然排尿
	採尿カテーテル
	留置カテーテル
	カテーテル尿
便検体	糞便
血液検体	静脈血
	動脈血
髄液検体	髄液
その他	尿道分泌液
	膣分泌液
	胃・十二指腸液
	胆汁
	生検材料(消化管)
	腹水
	関節液
	その他

・資料 2

内科系	内科
	循環器内科
	神経内科
	呼吸器内科
	消化器内科
	胃腸科
	内分泌・代謝内科
	腎臓内科
	糖尿病内科
	アレルギー・膠原病内科
	膠原病内科
	アレルギー内科
	リウマチ内科
	血液内科
	感染症内科
	老人内科
	心療内科
	その他
神経科	
精神科	
放射線科	
総合診療部	
救急部	
救急・集中治療部	
集中治療部(ICU)	
冠動脈疾患集中治療部(CCU)	
内視鏡科	
透析科	
理学療法・リハビリテーション科	
理学療法科	
リハビリテーション科	
麻酔科	
その他	

外科系	外科
	消化器外科
	肛門科
	肝胆脾外科
	心臓血管外科
	内分泌外科
	呼吸器外科
	小児外科
	小児循環器外科
	小児消化器外科
	産婦人科
	産科
	婦人科
	整形外科
	美容外科
	眼科
	耳鼻咽喉科
	気管食道科
	泌尿器科
	皮膚・泌尿器科
皮膚科	
脳神経外科	
形成外科	
歯科口腔外科	
歯科	
小児歯科	
矯正歯科	
口腔外科	
手術部	
移植・人工臓器科	

小児科系	小児科
	新生児科
	新生児集中治療部(NICU)
	周産期センター

・資料 3 厚生労働省 院内感染対策サーベイランス 薬剤耐性菌 判定基準 (Ver.3.1)

菌名	概要*	菌名コード	微量液体希釈法の基準*	ディスク拡散法の基準
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌 (MRSA)	MPIPC が “R” の <i>Staphylococcus aureus</i> (または CFX がディスク拡散法で “R”)、または選択培地で MRSA と確認された菌	1301、1303	MPIPC \geq 4 μ g/ml	MPIPC \leq 10mm または CFX \leq 21mm
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌 (VRSA)	VCM が微量液体希釈法で “R” の <i>Staphylococcus aureus</i>	1301、1303-1306	VCM \geq 16 μ g/ml	
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	下記のいずれかの条件を満たす <i>Enterococcus</i> spp. ・ VCM が微量液体希釈法で耐性 + ・ VCM がディスク拡散法で “R” ・ 選択培地で VRE と確認された菌 注) 種の同定が行われていない <i>Enterococcus</i> sp. は除く	1201、1202、1205、1206、1209、1210、1213-1217	VCM \geq 16 μ g/ml +	VCM \leq 14mm
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	PCG が微量液体希釈法で耐性 +、または MPIPC がディスク拡散法で “S 以外” の <i>Streptococcus pneumoniae</i>	1131	PCG \geq 0.125 μ g/ml +	MPIPC \leq 19mm または PCG が試薬会社の基準で “S 以外” (例 \leq 23mm) ‡
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	下記のすべての条件を満たす <i>Pseudomonas aeruginosa</i> ・ カルバペネム系 (IPM、MEPM のいずれか) が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (NFLX、OFLX、LVFX、LFLX、CPFX、GFLX のいずれか)	4001	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml + AMK \geq 32 μ g/ml + NFLX \geq 16 μ g/ml OFLX・LVFX・LFLX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm + AMK \leq 14mm NFLX・OFLX \leq 12mm LVFX \leq 13mm、LFLX \leq 18mm CPFX \leq 15mm、GFLX \leq 14mm
多剤耐性アシネトバクター属 (MDRA)	下記のすべての条件を満たす <i>Acinetobacter</i> spp. ・ カルバペネム系が “R” (IPM、MEPM のいずれか) ・ アミノグリコシド系は AMK が微量液体希釈法で耐性 +、またはディスク拡散法で “R” ・ フルオロキノロン系が “R” (LVFX、CPFX、GFLX のいずれか)	4400-4403	IPM・MEPM \geq 16 μ g/ml AMK \geq 32 μ g/ml + LVFX・GFLX \geq 8 μ g/ml CPFX \geq 4 μ g/ml	IPM・MEPM \leq 13mm AMK \leq 14mm LVFX \leq 13mm、GFLX \leq 14mm CPFX \leq 15mm
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	下記のいずれかの条件を満たす腸内細菌科細菌 ・ MEPM が耐性 + ・ IPM が耐性 +、かつ CMZ が “R”	2000-2691、3150-3151	MEPM \geq 2 μ g/ml + IPM \geq 2 μ g/ml + かつ CMZ \geq 64 μ g/ml	MEPM \leq 22mm IPM \leq 22mm、かつ CMZ \leq 12mm

* 原則 S,I,R の判定は CLSI2012(M100-S22)に準拠

+ 感染症発生動向調査の基準に準拠

‡ PR(I)SP のスクリーニングにディスク拡散法で PCG を用いることは推奨されていないが、国内の現状を考慮し採用